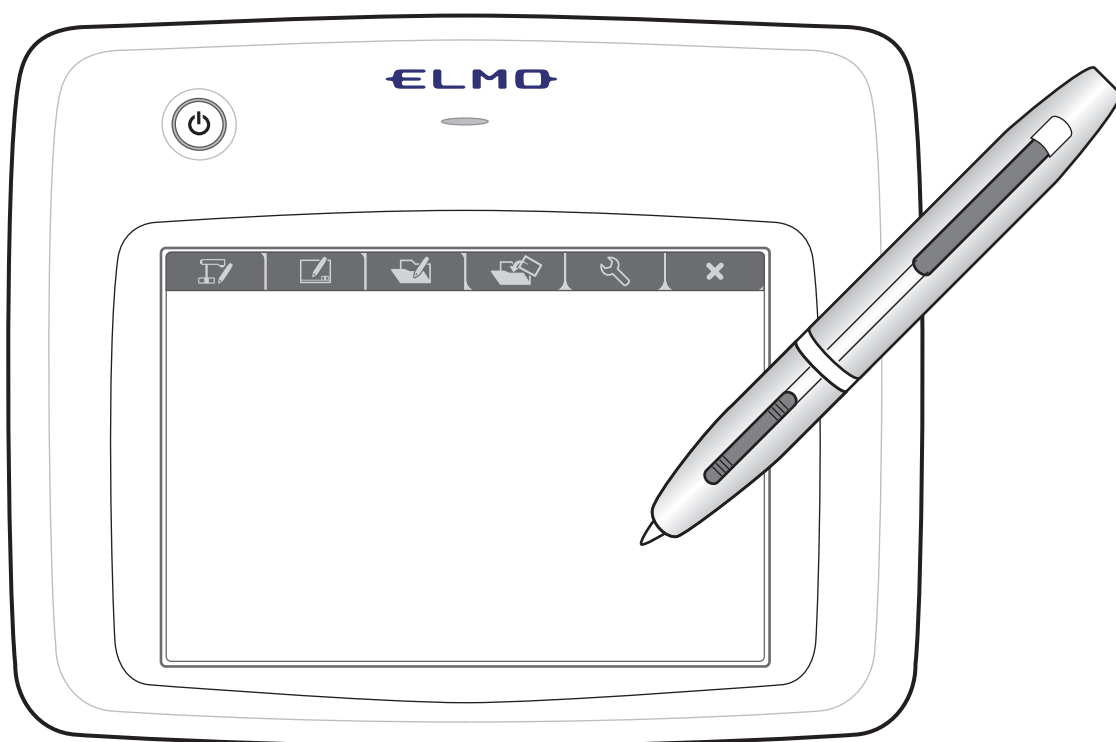


取扱説明書（応用編）

ペンタブレット（CRA-1）



CRA-1 をご使用になる前に本取扱説明書をよくお読みください。
万一の際に備え、本取扱説明書は大切に保存してください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくために一必ずお守りください

この「安全上のご注意」は、ペンタブレットを正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。

ご熟読の上ご使用ください。

次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味

	名称：注意 意味：注意（しなければならないこと）を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。
	名称：禁止 意味：禁止（してはいけないこと）を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。
	名称：強制 意味：強制（必ずすること）を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。
	名称：風呂場・シャワー室での使用禁止 意味：製品を風呂場やシャワー室で使用することで火災・感電などの損害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
	名称：接触禁止 意味：接触すると感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
	名称：分解禁止 意味：製品を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

⚠ 警告

万一煙が出ている、変なにおいや音がするとき、すぐにペンタプレットの電源をOFFにし、バッテリーパックをペンタプレットから外し、ワイヤレスアダプタをパソコンから外す。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙などが出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



機器の内部に水などが入った場合は、電源をOFFにし、バッテリーパックをペンタプレットから外し、ワイヤレスアダプタをパソコンから外して、販売店に連絡する。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



異物が機器の内部に入った場合は、電源をOFFにし、バッテリーパックをペンタプレットから外し、ワイヤレスアダプタをパソコンから外して、販売店に連絡する。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。（特にお子様のいる環境ではご注意ください。）



機器を落とした場合や、ペンタプレット、ワイヤレスアダプタまたはペンを破損した場合は、バッテリーパックをペンタプレットから外し、ペンから乾電池を外し、ワイヤレスアダプタをパソコンから外して、販売店に連絡する。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



機器のカバーは外さない。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は、販売店にご依頼ください。



機器を改造しない。火災・感電の原因となります。



ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



指定されたバッテリーパックを使用する。指定されたバッテリーパック以外では、火災・感電の原因となります。



機器に水を入れたり、ぬらさない。火災・感電の原因となります。



コードの上に重いものをのせたり、コードをペンタプレットの下敷きにしない。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。（コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。）



コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



風呂場、シャワー室では使用しない。火災・感電の原因となります。



雷が鳴り出したらペンタプレット、コードなどには触れない。感電の原因となります。



ペンタプレットまたはワイヤレスアダプタを人がひっかかる所へ設置しない。つまずいて転倒したり、けがや事故の原因になります。



⚠ 警告

コードプラグや取付面にほこりが付着している場合は、コードプラグを抜き、プラグ上のほこりを取り除く。コードプラグの絶縁低下により、火災の原因となります。	⚠
バッテリーパックをペンタブレット以外で使用しない。液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。	⊘
バッテリーパックを分解または改造しない。液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。	⊘ ⚠
バッテリーパックを針金などの金属で接続しない。金属製のネックレスやヘアピンと一緒に持ち運んだり、保管しない。バッテリーパックがショート状態となり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。	⊘
バッテリーパックを火の中に投入したり、加熱しない。絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や安全機構を損傷したり、電解液に引火し、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。	⊘
バッテリーパックを火のそば、ストーブのそばなどの高温になる場所で使用したり、放置しない。絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や安全機構を損傷したり、電解液に引火し、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。	⊘
バッテリーパックを水や海水などにつけたり、濡らさない。バッテリーパック内部で異常な化学反応が起こり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。	⊘
火のそばや炎天下などでの充電は行わない。バッテリーパック内部で異常な化学反応が起こり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。	⊘
釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない。バッテリーパックが破損、変形し、内部でショート状態となり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。	⊘
強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない。バッテリーパックが破損、変形し、内部でショート状態となり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。	⊘
外傷がある、または変形したバッテリーパックを使用しない。液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。	⊘
(+)と(-)を逆にして使用しない。バッテリーパック内部で異常な化学反応が起こり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。	⊘
指定機器以外で使用しない。バッテリーパックの性能低下、機器の破損、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。	⊘
バッテリーパック漏液が体に付着した場合、こすらずきれいな水で十分に洗った後、ただちに医師の治療を受ける。放置すると体に障害を与える原因となります。	⚠
本製品の部品をお子様の手の届くところに置かない。誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。万一飲み込んだと思われる時は、ただちに医師にご相談ください。	⚠

⚠ 注意

湿気やほこりの多い場所に置かない。火災・感電の原因となることがあります。	
調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気・水滴が当たるような場所に置かない。火災・感電の原因となることがあります。	
コードを熱器具に近づけない。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	
ぬれた手でコードプラグを抜き差ししない。感電の原因となることがあります。	
コードプラグを抜くときは、コードを引っ張らない。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずコードプラグ本体を持って抜いてください。	
移動させる場合は、必ずコードプラグを抜く。コードを外したことを確認のうえ、移動してください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。	
お手入れの際は、安全のためコードプラグを抜いて行う。感電の原因となることがあります。	
機器を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ずバッテリーパック、コードプラグを抜く。火災の原因となることがあります。	
購入後、定期的な点検や内部の掃除は販売店に相談する。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。	
コードプラグは根元まで確実に差し込む。差し込みが不完全ですと、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、コードプラグに触れると感電することがあります。	
コードプラグを根元まで差し込んでみてもゆるみがある場合は接続しない。発熱して火災の原因となることがあります。販売店にご相談ください。	
充電の際、所定の充電時間を超えて充電しない。液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。	
電磁調理器の上に置いたり、電子レンジや高圧容器に入れない。バッテリーパックが破損し、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。	

目次

安全上のご注意	2
ご使用の前に.....	8
主な機能	9
同梱品	12
各部の名称	13
ご使用前の準備	14
バッテリーパックの取り付け／充電	14
ペンに電池を入れる	15
ペンタブレットソフトウェア（Image Mate Accent）のインストール	16
ペンタブレットの基本操作	17
ペンの基本操作	17
画面の基本構成	18
配線	19
授業で使う	20
書画カメラモード基本操作	23
使う	23
書画カメラを操作する	25
描く	26
直線を描く	27
消す	28
授業の記録	29
終了する	30
書画カメラモード応用操作	31
マスクを使う	31
ハイライトを使う	32
スクロールを使う	33
コンペアピクチャーを使う	34
ホワイトボードモード	35
使う	35
背景を変更する	35
パソコン画面を背景にする	38
教材取り出しモード	40
使う	40
教材を選ぶ	40
ビデオを選ぶ	41
教材を削除する	42
メニュー一覧	45

書画カメラモード	45
ホワイトボードモード	48
教材取り出しモード	50
機能一覧	52
教材を作る	53
教材作成モード	54
使う	54
書画カメラを使って教材を作る	55
書画カメラ以外で教材を作る	58
ファイル操作	65
メニュー一覧	68
教材作成モード	68
機能一覧	70
各種設定	71
設定モード	72
ペンタブレットの状態表示	73
ペンを設定する	74
その他の機能	75
ペン先の交換	75
ワイヤレスアダプタとペンの収納	75
LED について	76
スタンプを追加する	77
ペンタブレットの無線通信設定	78
困ったときには	79
製品仕様	82
製品仕様	82
動作環境	83
別売りアクセサリーについて	84
使用上のご注意	84
免責事項	86
商標について	86
保証について	87

ご使用の前に

この度はお買い上げありがとうございます。

ペンタブレットを快適に使用するために、本書をご熟読の上ご使用ください。また別紙で追加情報が同梱されている時は、必ずご参照ください。



注意

本書に記載の画面や図は実際のもとは異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

主な機能

本製品（ペンタブレット）は弊社書画カメラを使った授業をより楽しく分かりやすくする教育用ツールです。

ペンタブレットは授業を効果的に行うために必要な数々の特徴を備えています。

■書画カメラの映像に描く

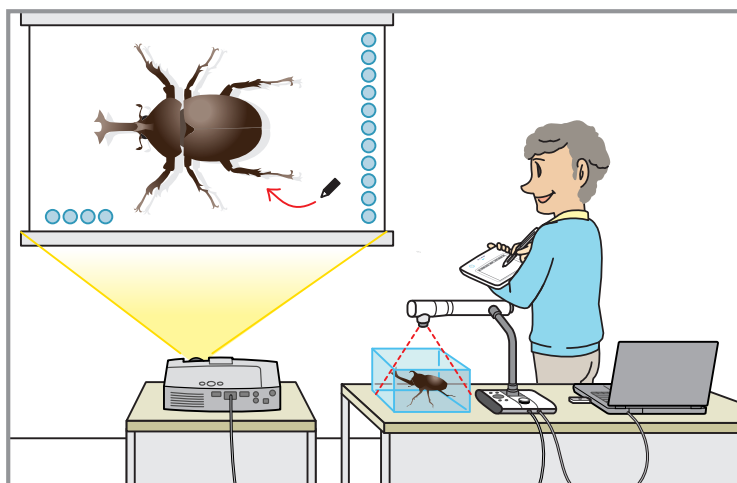
書画カメラの映像に「直接描ける」ので、映すだけでは伝えきれなかった大切なポイントも、ダイレクトに伝えることができます。

■書画カメラを操作する

書画カメラを使ったズーム操作などを画面上のメニューボタンで簡単に操作できます。

■離れたところから自由に操作

無線方式を採用することで、広い教室のどこからでも自由に描くことができます。

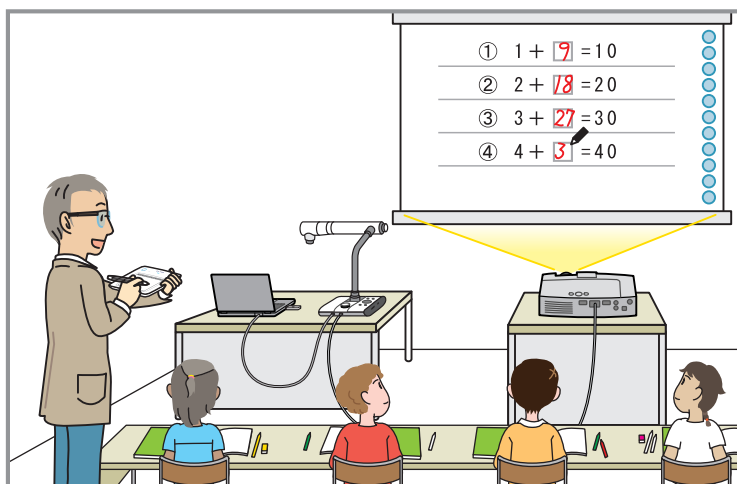


■黒板として使う

グラフ用紙や五線譜などの画像を背景にして授業を行うことができます。

グラフを描いたり、アイテムスタンプを押したりして人物や果物などのイラストを配置するなど、教材作成を支援します。

作成した教材は簡単に読み出し、授業で使うことができます。



■授業を記録する

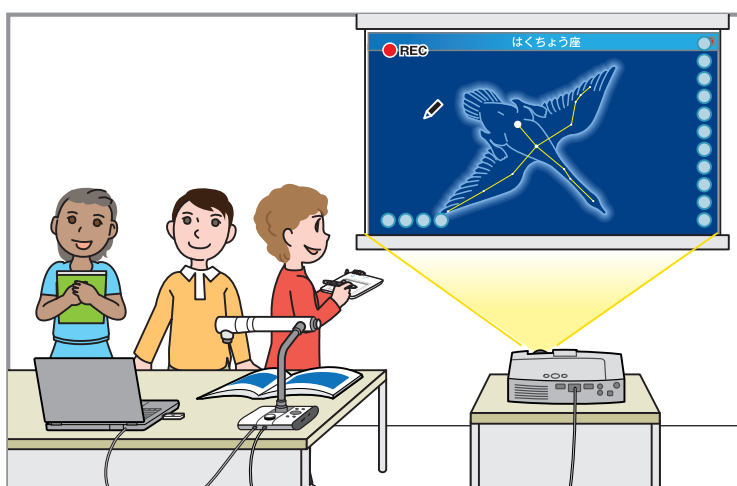
目的に応じた多彩な録画方式が使えます。

授業録画 : 書画カメラに書いた文字も音声も簡単に録画

間欠録画 : 長時間の変化を一定の間隔時間で録画

コマ撮り録画 : 記録したい場面だけを選んで録画

録画した映像はワンタッチで簡単に再生することができます。授業録画では、生徒に見せたい先生のお手本も書き込んだ文字もまとめて録画でき、繰り返し生徒に見せて学習できます。



■パソコン画面に描く

パソコンをペンタブレットで操作できます。

マウスの代わりにペンタブレットでパソコンを操作したり、パソコン画面に直接描画したりできます。

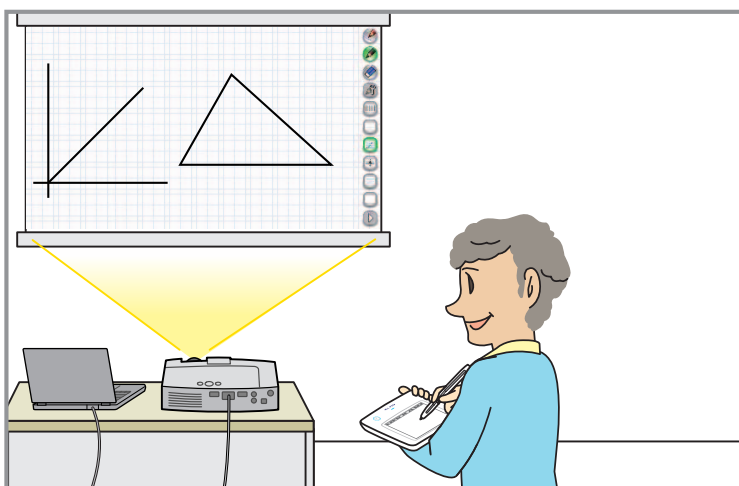


■直線を描く

直線ペンおよびマーカーは、直線補正機能があります。

まっすぐな手書きの線を自動的に直線に変換します。

グラフ・図形・アンダーラインを描くときに便利です。



同梱品

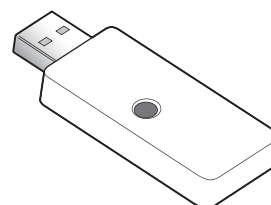
本製品のパッケージ内容は、次のとおりです。お買い上げのパッケージに次のものが同梱されていない場合は、販売店までご連絡ください。



タブレット



ペン



ワイヤレス
アダプタ



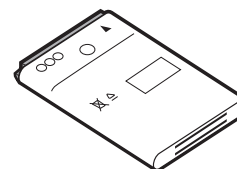
替え芯交換用
ピンセット



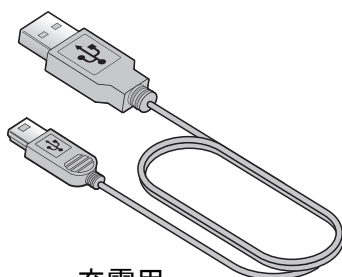
替え芯×3本



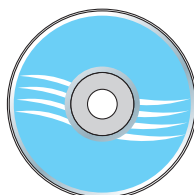
単4形乾電池
(ペン用)



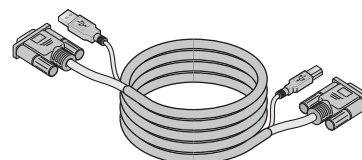
ペンタブレット用
バッテリーパック
(リチウムイオン電池)



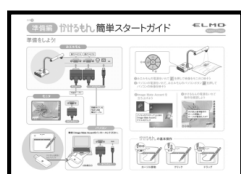
充電用
USB ケーブル



アプリケーション
ソフトウェア
(CD-ROM)



RGB・USB 複合ケーブル
(書画カメラ・パソコン接続用)



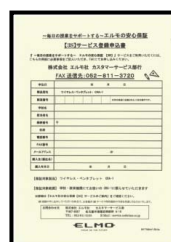
かけるもん簡単
スタートガイド



取扱説明書
導入編



はじめに
お読みください

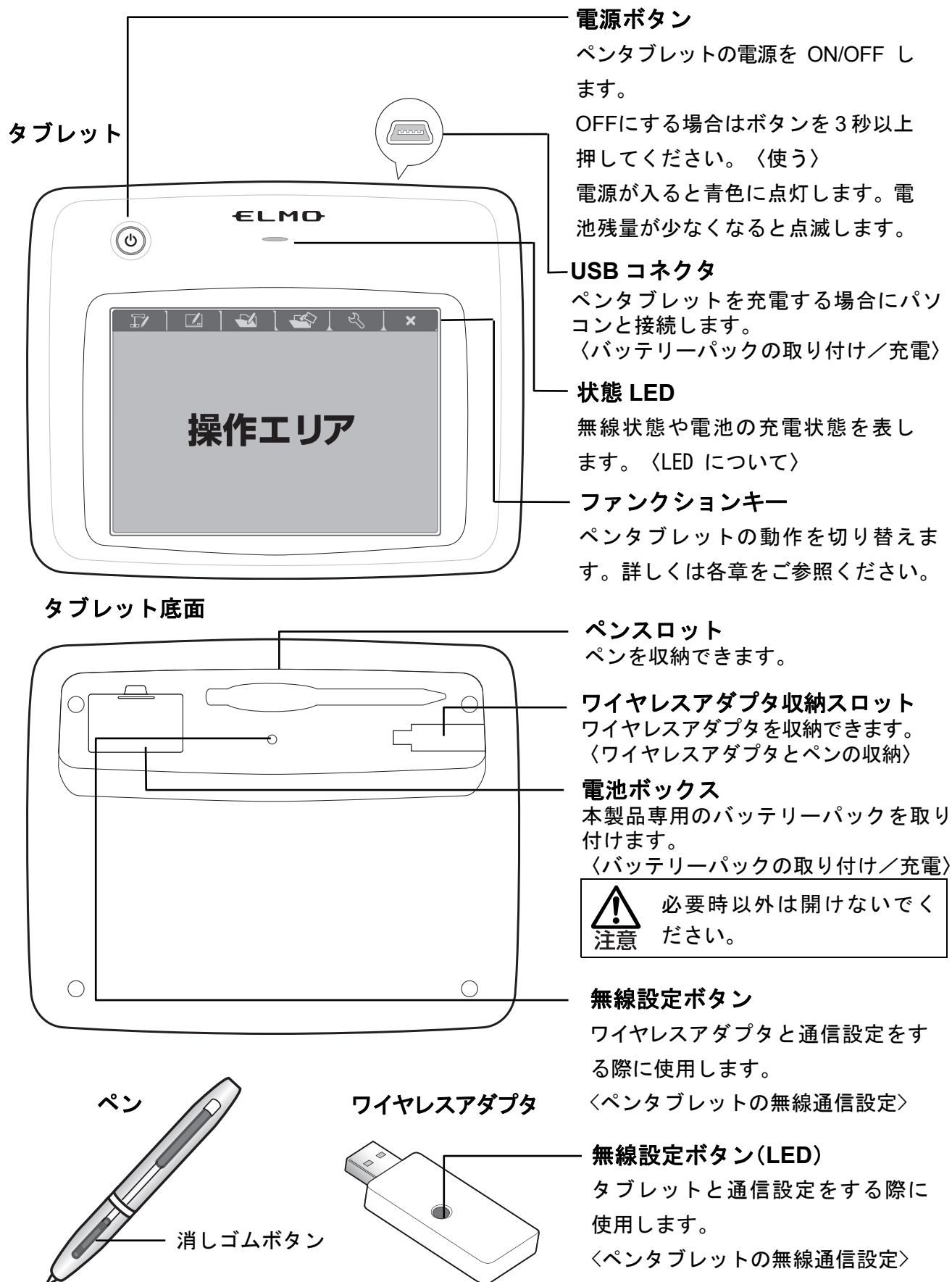


3S サービス
登録申込書



3S サービス
登録説明書

各部の名称



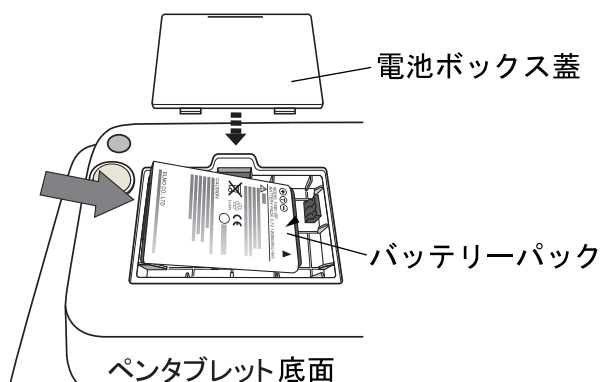
ご使用前の準備

バッテリーパックの取り付け／充電

ご使用になる前にバッテリーパックを取り付け、充電されていることを確認してください。

① ペンタブレットにバッテリーパックを取り付けます。

ペンタブレットの底面にある電池ボックスに、付属のバッテリーパックを取り付けます。



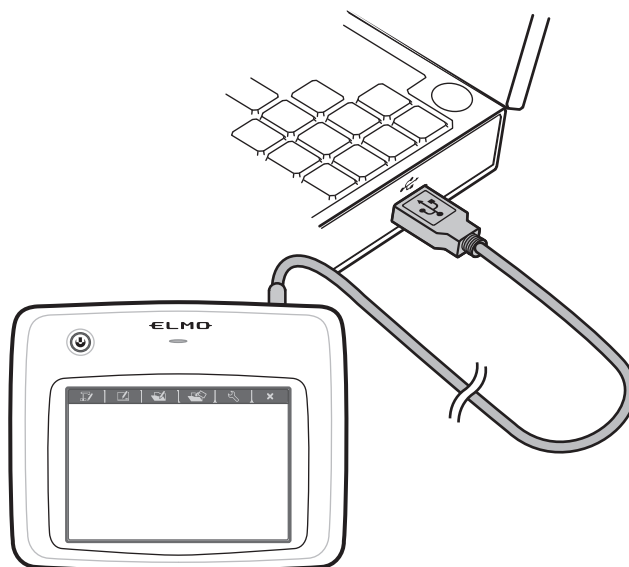
- ・ バッテリーパックの挿入方向に注意してください。
- ・ 電池ボックスは必要時以外、開けずにご使用ください。

② 充電用 USB ケーブルでパソコンとペンタブレットを接続します。

充電が始まると
ペンタブレット中央の「状態 LED」
が点灯します。

充電が完了すると
「状態 LED」が消灯します。

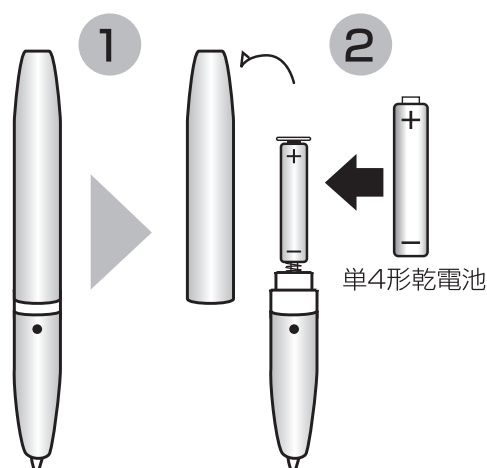
充電時間：約 4 時間



- ・ 充電が完了したら充電用 USB ケーブルをペンタブレットから外してください。
- ・ ご使用の際は充電用 USB ケーブルをペンタブレットから外してください。

ペンに電池を入れる

ご使用になる前に、ペンに乾電池を取り付けてください。



- ・ 乾電池の極性（＋／－の向き）には十分注意してください。
- ・ ペンを長時間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- ・ 乾電池を充電したりショートしたりしないでください。
- ・ 乾電池は必ず単4形アルカリ乾電池を使用し、充電式電池（Ni-Cd 等）は使用しないでください。
- ・ 付属品の乾電池は最初の動作確認用のものです。有効使用期間は保証していません。

<乾電池の交換時期>

電池残量が少なくなると操作感が悪くなる場合があります。



- ・ ペンのキャップを外す時に、乾電池が飛び出してくる場合がありますのでご注意ください。
- ・ 乾電池は、少なくとも年に一度は交換してください。

ペンタブレットソフトウェア（Image Mate Accent）のインストール

描くなどの基本的な操作をはじめとする各種操作は、ペンタブレットソフトウェア（Image Mate Accent）を使って行います。

そのため、ペンタブレットを使用するパソコンにペンタブレットソフトウェア（Image Mate Accent）をインストールする必要があります。

以下の手順に従って、ペンタブレットソフトウェア（Image Mate Accent）のインストールを行ってください。

なお、インストールはペンタブレットをはじめてお使いになるパソコンにつき、一度だけ行う作業です。（ペンタブレットの使用時に毎回必要な作業ではありません。）

■インストール

ペンタブレットを使用するためには、使用するパソコンにペンタブレットソフトウェア（Image Mate Accent）をインストールする必要があります。

以下の手順に従って、ペンタブレットソフトウェア（Image Mate Accent）のインストールを行ってください。

- ①管理者としてログインし、付属 CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに入れます。
- ②CD-ROM のルートフォルダ->Mac->Image Mate Accent.pkg をダブルクリックしてください。
- ③画面に従い、インストールを行ってください。



注意

ご使用の環境によっては、パソコンの再起動を促す場合があります。指示に従い、パソコンを再起動してください。

■アンインストール

- ①CD-ROM のルートフォルダ->Mac->Image Mate Accent Uninstaller.app をダブルクリックしてください。
- ②アンインストールプログラムが起動します。画面の指示に従ってアンインストールを進めます。



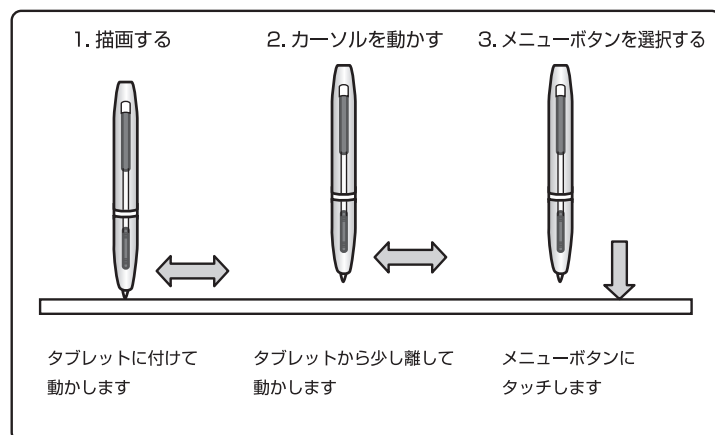
注意

アンインストールでは、再インストールの為に一部データが残る場合がありますが、他のソフトウェアへの影響はありません。

ペンタブレットの基本操作

ペンタブレットの基本操作と各操作の名称についてご説明します。

ペンの基本操作



■ドラッグ（描画する）

ペン先をタブレットに付けて動かします。

  が選択されている場合、ペンの動きに合わせて線が描画されます。

描画・消去する場合に使用します。

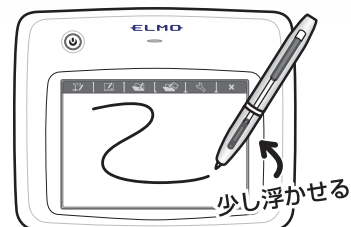


■カーソル移動（カーソルを動かす）

ペンをタブレットから少し離して動かします。

ペンの動きに合わせて、画面上のカーソルが移動します。

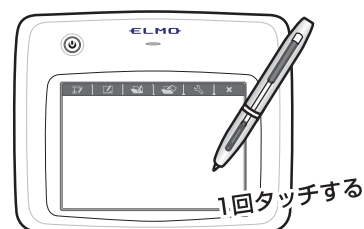
カーソルを移動する場合に使用します。



■タッチ（メニューボタンを選択する）

ペンをタブレットから少し離してカーソル移動し、操作エリア内をペンでタッチします。

メニューボタンを選択する場合に使用します。



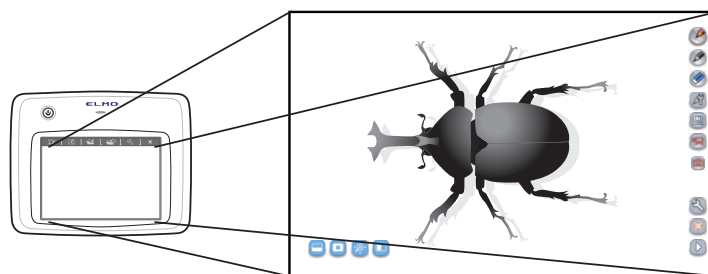
ペンタブレットにタッチする時に過度に力を加えないでください。



お知らせ

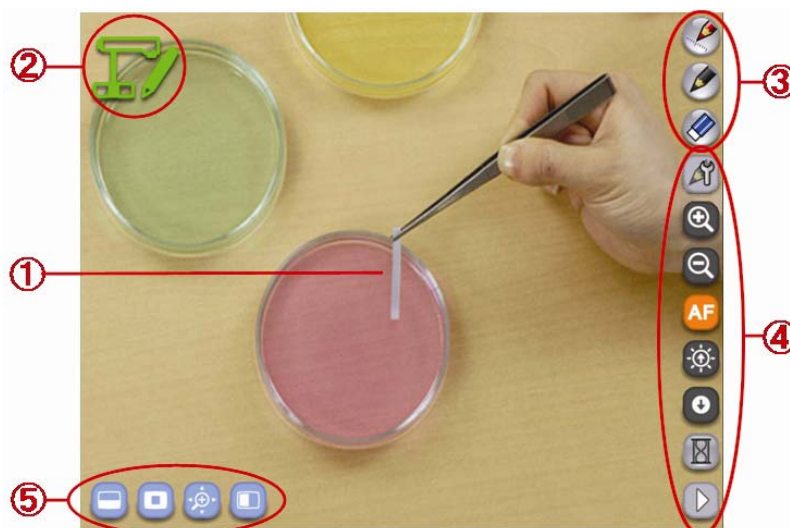
- ペンを極端に倒して使用すると、ペンの位置を正しく認識できなくなる場合があります。できるだけペンを垂直にして使用することをお勧めします。
- しばらくペンを使用しない場合、ペンが節電モードになります。再度使用する場合は、ペン先を一度タッチすると使用できるようになります。

タブレット上の操作エリアが映像画面全体に対応します。



画面の基本構成

ペンタブレットを使う時に表示される基本的な画面構成について説明します。



ペンタブレットソフトウェア（Image Mate Accent）の起動画面

①	描画エリア	書画カメラ映像の表示や描画を行うエリアで、モニター全体が描画エリアとなります。
②	状態表示エリア	現在行っている動作をアイコンで表示します。
③	描画メニューエリア	描画に使用するペンと全消去を選択することができます。
④	メニューエリア	設定や動作を行うためのボタンです。
⑤	サブメニューエリア	さまざまな拡張機能を利用するためのボタンです。 このボタンはモードによって使える機能が変わります。



メニューエリアの  をタッチすると、次のメニューに表示を切り替えます。

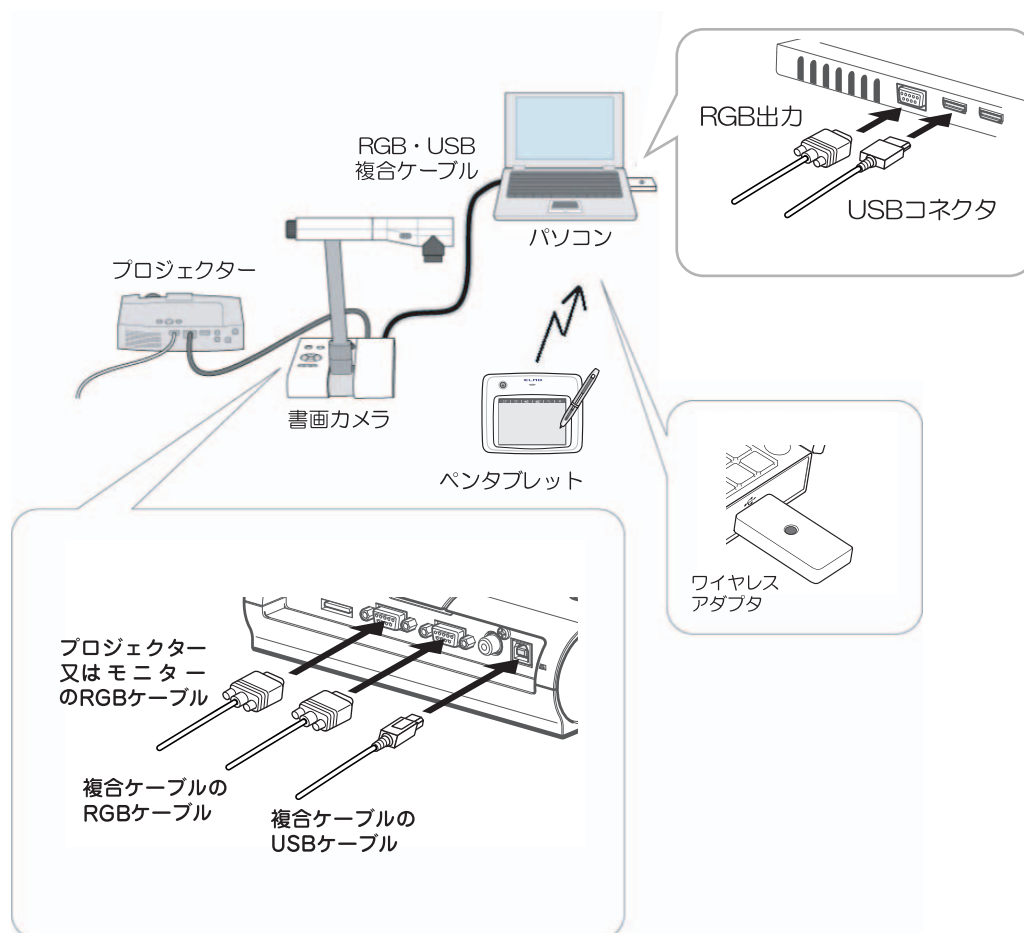
配線

ペンタブレットをお使いいただくための接続例を提示します。

■準備するもの

ペンタブレットおよび付属品	別売品
●ペンタブレット ●ワイヤレスアダプタ ●RGB・USB 複合ケーブル	●弊社製書画カメラ ●パソコン ●プロジェクター ●RGB ケーブル

1 図の様に配置し、配線します。

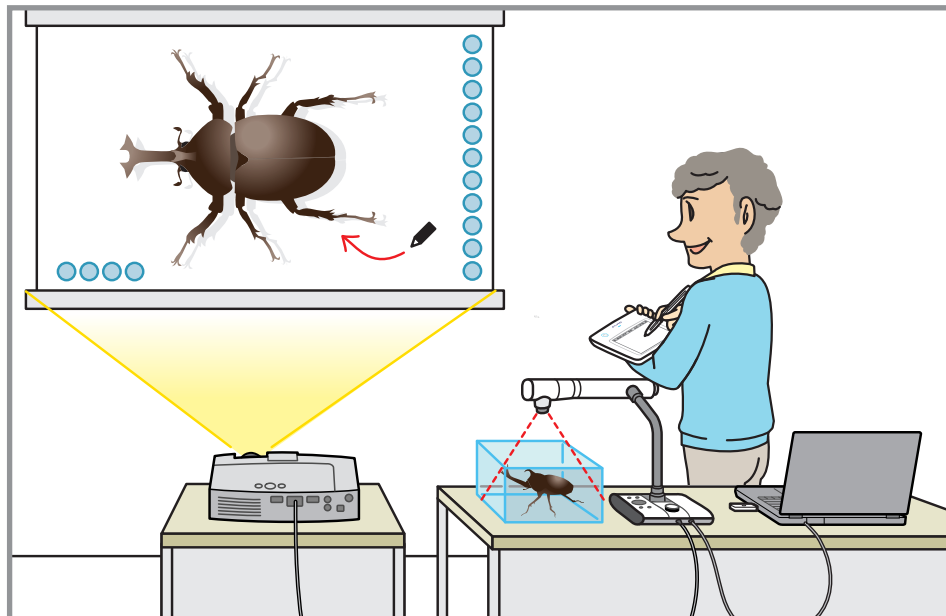


注意

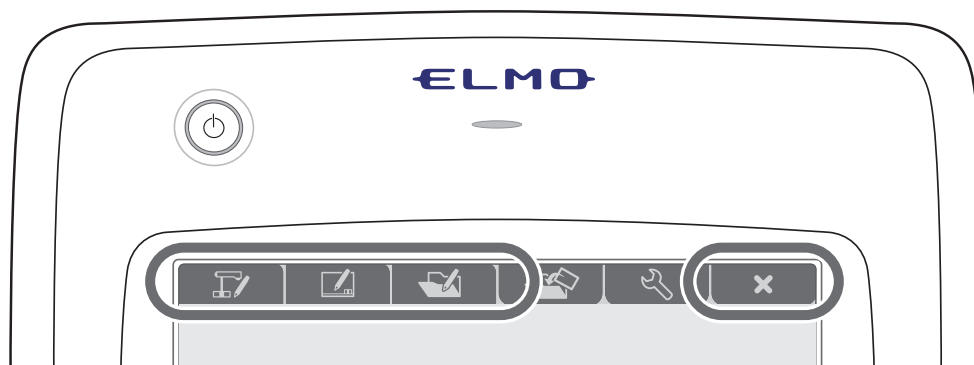
プロジェクターや書画カメラなどの別売品の設置・操作については、それぞれの取扱説明書をご参照ください。

授業で使う

この章では、実際にペンタブレットを使って授業を行う方法をご紹介します。



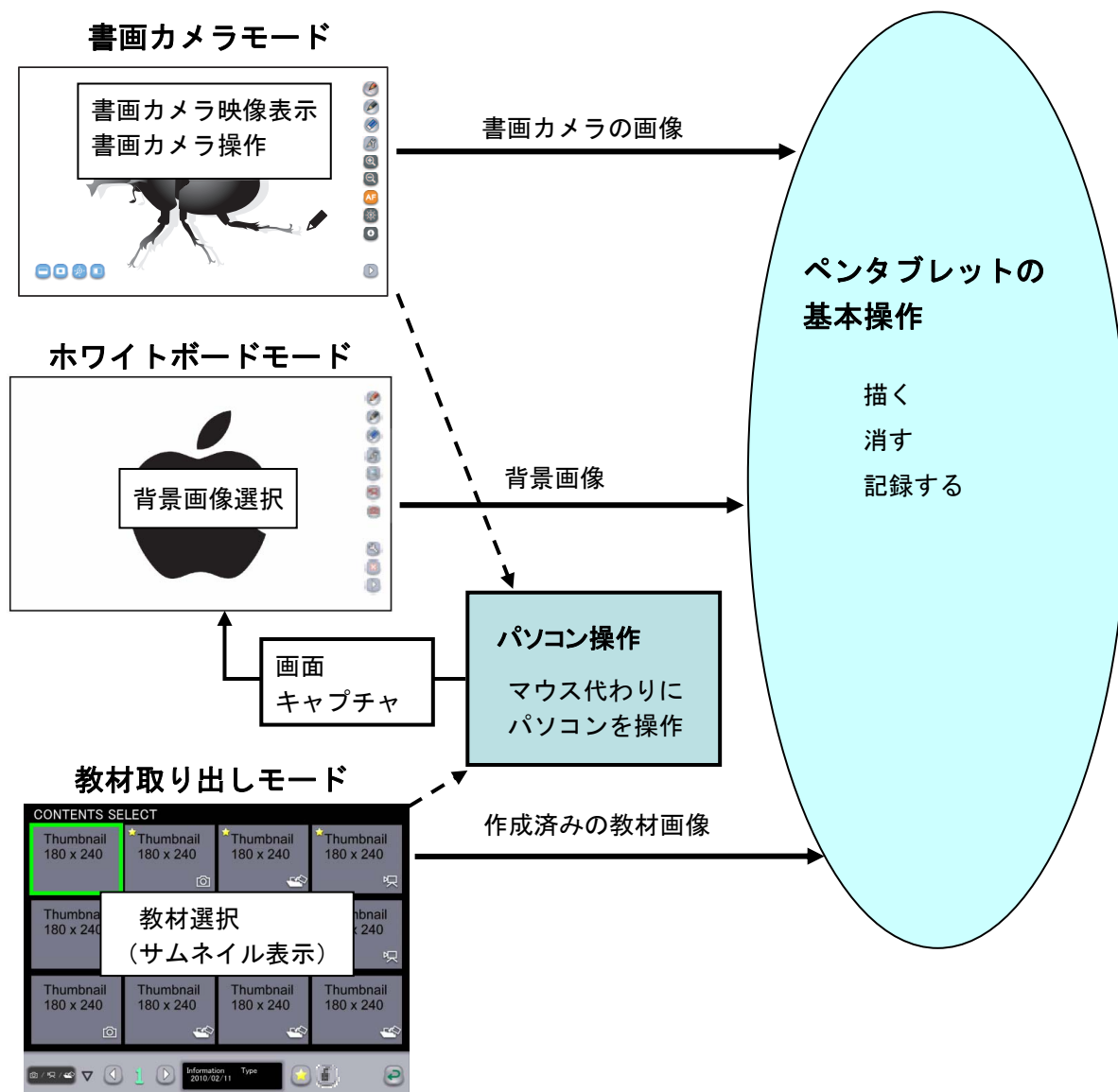
実際に授業でペンタブレットを使うためには、最初にペンタブレット上部にあるファンクションキーをタッチし、下表のような使用状況に応じたモードを選択する必要があります。



モード	ファンクションキー	説明
書画カメラモード	 	授業で書画カメラを使う場合に使用するモードです。 書画カメラ映像を表示します。
ホワイトボードモード	 	授業でホワイトボードとして使用するモードです。 用意された背景を表示します。
教材取り出しモード	 	授業で教材を使用するモードです。 教材とは、ペンタブレットソフトウェア（Image Mate Accent）で作成した写真、ビデオ、教材データです。 このモードでは、選択した教材を表示します。
終了	 	ペンタブレットソフトウェア（Image Mate Accent）を終了します。

各モードはペンタブレットの上部にあるファンクションキーまたは「エキスパート」設定の時にメニューボタンで変更することができ、描いた線は、モードを変えても保持されます。

■ペンタブレットの各モードの概念図



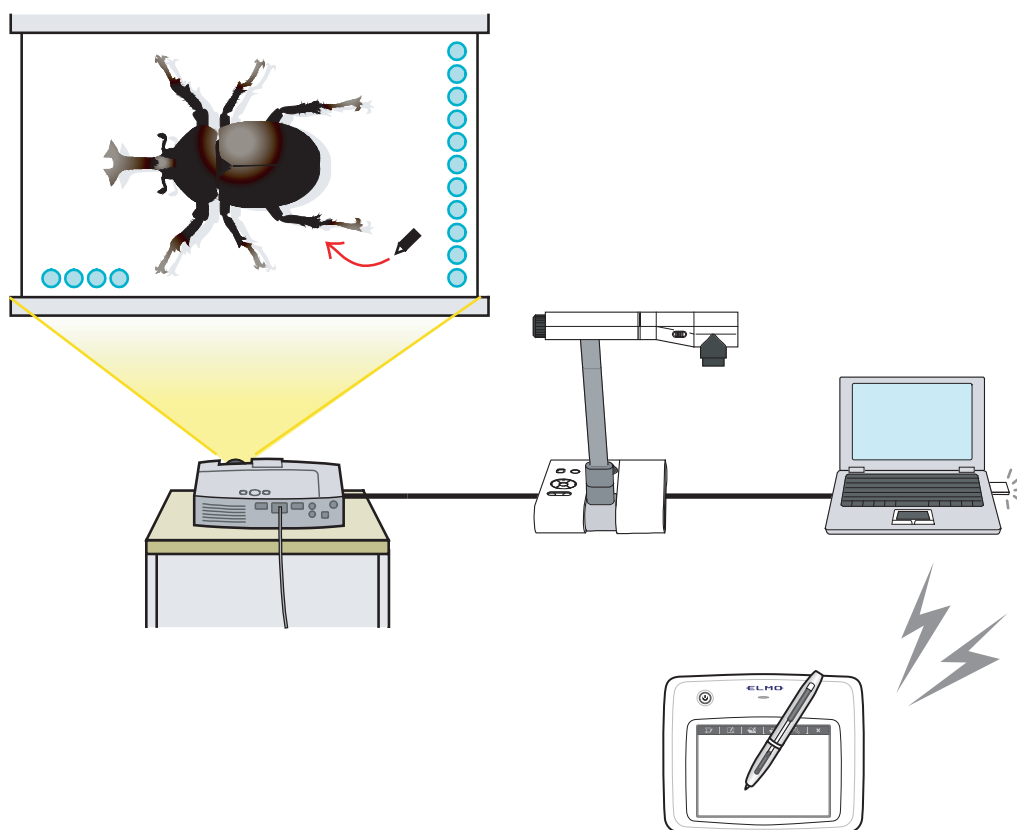
上記のように、「書画カメラモード」では書画カメラ画像、「ホワイトボードモード」では背景画像、「教材取り出しモード」では作成済みの教材画像に対して、ペンタブレットの基本操作（描く、消す、記録する）を行います。

パソコン操作は、どのモードからも遷移可能であり、パソコンのマウス代わりに操作することができます。パソコン画面をキャプチャすると自動的にパソコン画面が背景となり、ペンタブレットの基本操作を行うことができます。

以後、上記各モードに応じた動作の詳細を説明します。

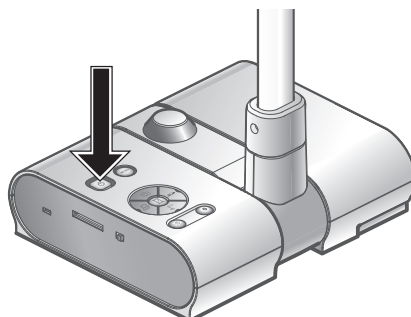
書画カメラモード基本操作

書画カメラモード（基本操作）では、書画カメラの映像に直接描画したり、その様子を記録することができます。またズームなど書画カメラを直接操作することも可能です。



使う

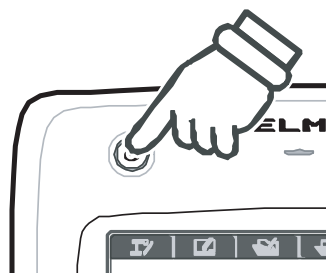
- 1 書画カメラの電源を入れます。



Mac OS X の場合、初めて書画カメラを接続すると、ドライバのインストールが開始される場合があります。

画面の指示に沿ってインストールを行ってください。

② ペンタブレットの電源を入れます。

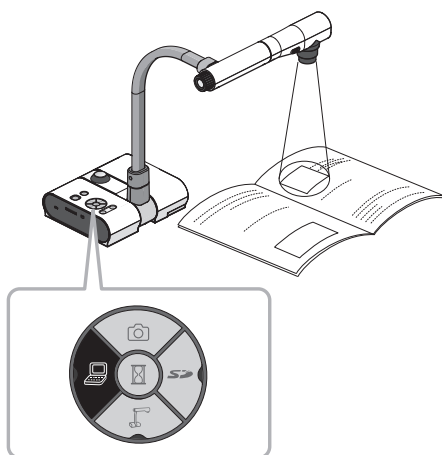


注意

電源ボタンを押すと、電源 LED が点灯します。

※ 電源 LED が点滅または消灯したままの場合は、バッテリーパックの電池残量が不足しています。バッテリーパックの充電を行ってください。

③ 書画カメラをパソコンモードにします。



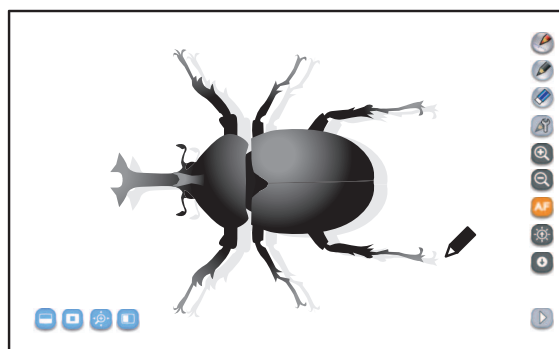
④ ノートパソコンでは映像を外部出力モードに切り替えます。

切り替え方法はお使いのノートパソコンの取扱説明書をご確認ください。

⑤ パソコンのデスクトップ上にある「Image Mate Accent」アイコン を選択します。

ペンタブレットソフトウェア（Image Mate Accent）が起動します。

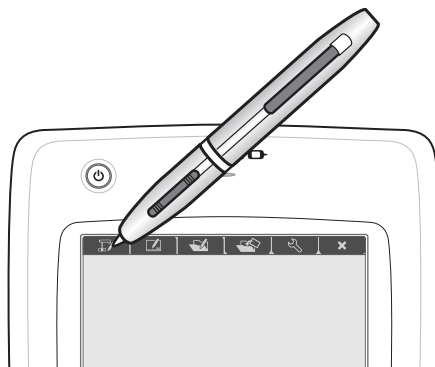
ペンタブレットソフトウェア（Image Mate Accent）が起動すると、書画カメラの映像が表示されます。





- ・  が見つからない場合、Finder->アプリケーションを表示して、ペンタブレットソフトウェア (Image Mate Accent)を起動します。
- ・ ペンタブレットソフトウェア(Image Mate Accent)を起動中は、パソコン画面の解像度設定を変更しないでください。

- ⑥** ペンタブレットソフトウェア (Image Mate Accent) が起動したら、ペンタブレットの  ファンクションキーをタッチします。



書画カメラを操作する

- ①** 画面右の  、、  をタッチして書画カメラの操作を行います。

  ズーム＋／－	書画カメラのズーム制御をします。
 オートフォーカス	書画カメラのフォーカスを自動的に合わせます。
  明るさ＋／－	書画カメラの明るさを調整します。

描く

画面右上部のメニューボタン、 から使用するペンをタッチします。

赤い線を書くときはを、黒い線を書くときはを選択します。

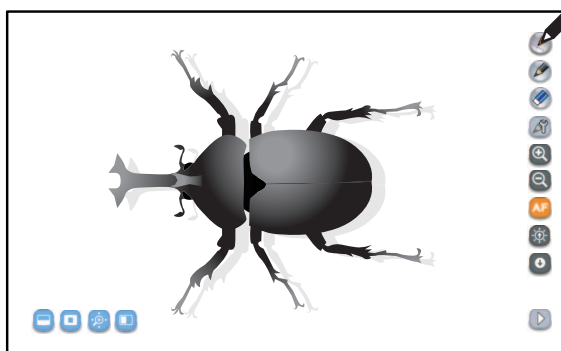
1 最初の設定は、直線ペン（赤）、鉛筆（黒）です。

定規マークのついたペンは、直線補正機能付きの直線ペンです。

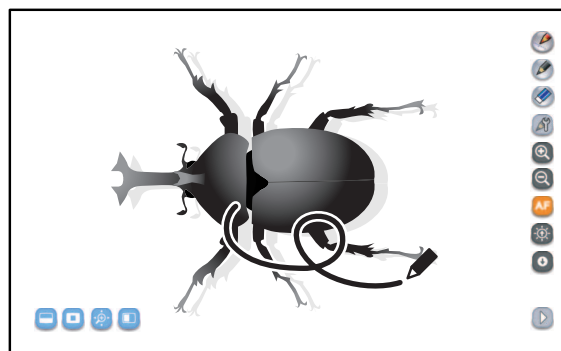
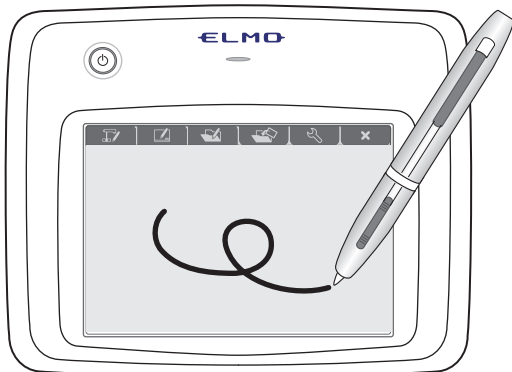
アンダーラインを引く、表やグラフを描くときなどに便利です。

お知らせ

- ペンの種類は、ペンの設定にて変更することができます。〈ペンを設定する〉
- 直線ペンは、ホワイトボードモードでグラフ用紙を選択すると、より効果的に直線補正機能を活用することができます。〈 グラフ用紙を使う〉



2 ペン先をタブレットに付けて動かして描画します。



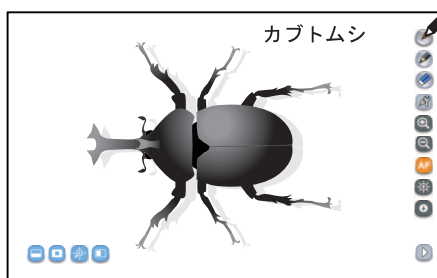
詳しくは〈ペンの基本操作〉をご参照ください。

直線を描く

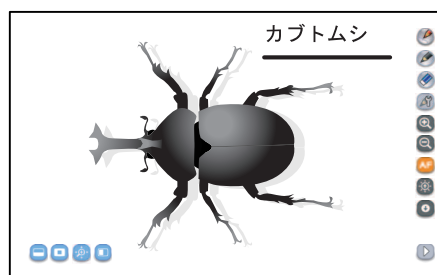
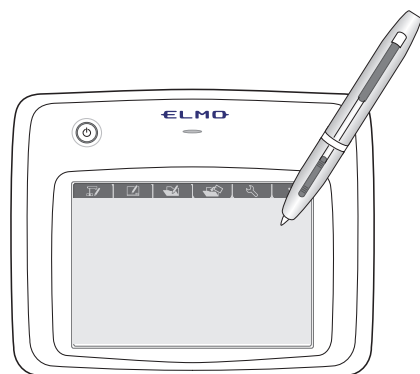
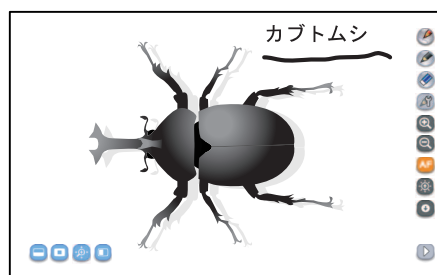
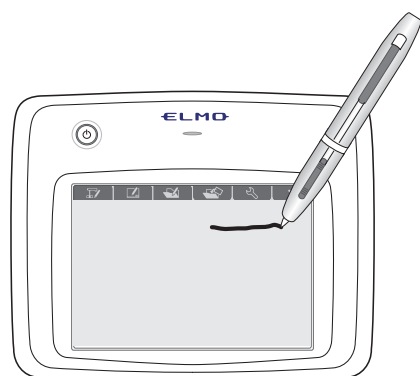
直線ペンとマーカーには、直線補正機能があります。
まっすぐな手書きの線を自動的に直線に変換します。

■アンダーラインを引く

①  または  にタッチします。



② まっすぐな線を描きます。



直線に変換されます。



ペンの切り替え方法については〈ペンを設定する〉をご参照ください。
直線ペンの便利な使い方については〈■グラフ用紙を使う〉をご参照ください。

消す

■部分消去

描画を一部消去したい場合は消したい部分にカーソルを合わせ、消しゴムボタンを押しながらドラッグをします。

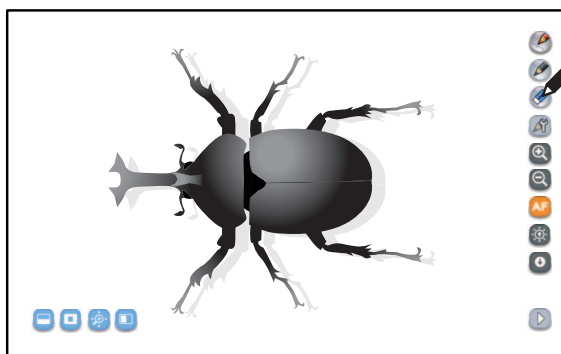


注意

続けて描いた線の一部分を消すことはできません。

■全消去

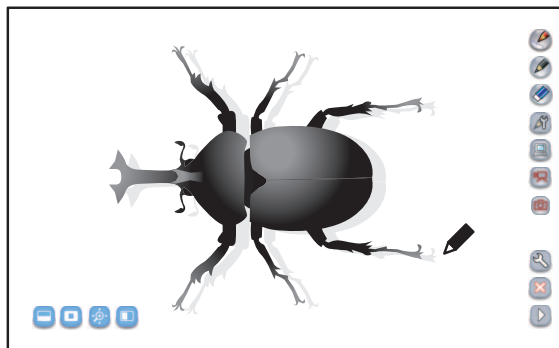
画面全体の線を消去するには  をタッチします。



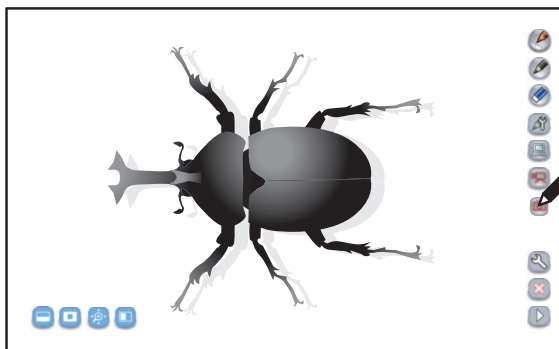
授業の記録

■写真として残す

1 写真にしたい映像を表示します。



2  をタッチすると、写真が保存されます。



注意

・作成した写真の確認は〈教材を選ぶ〉をご参照ください。

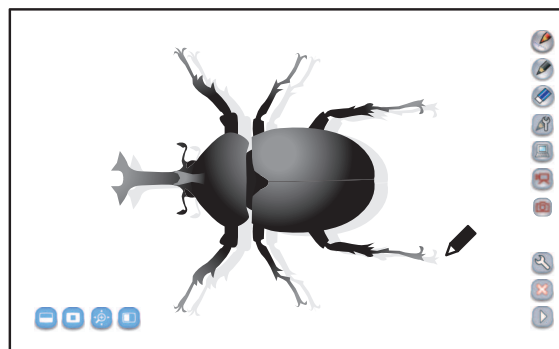
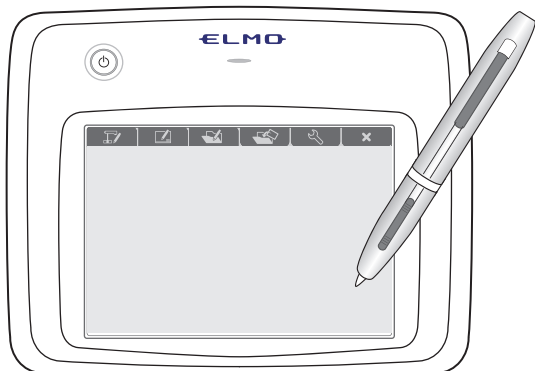


お知らせ

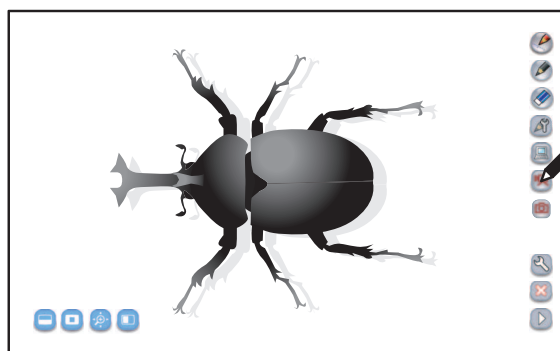
キャプチャボタン  はメニューボタン下部の  をタッチしてメニューを切り替えると表示されます。

■ビデオを記録する

1 ビデオにしたい映像を表示します。



2 画面右の  をタッチすると、ビデオでの録画を開始します。



再度、 をタッチすることで録画を停止します。



お知らせ

授業録画開始／停止ボタン  はメニューボタン下部の  をタッチしてメニューを切り替える
と表示されます。



注意

- ・モードを「教材作成モード」に変更すると、録画が停止します。
- ・作成したビデオの確認は〈教材を選ぶ〉をご参照ください。
- ・音声の録音に必要な外部入力機器の接続や設定は、それぞれの取扱説明書をご参照ください。

終了する

1 ペンタブレットの  ファンクションキーをタッチして、ペンタブレットソフトウェア(Image Mate Accent)を終了します。

2 ペンタブレットの電源を OFF にするには、電源ボタンを 3 秒以上押してください。

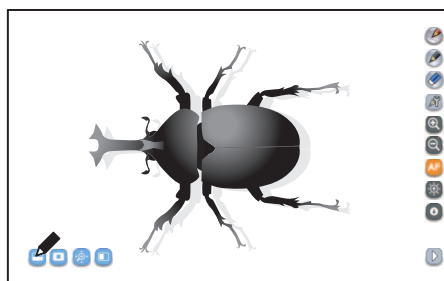
書画カメラモード応用操作

書画カメラモード（応用操作）では、基本操作に加えて各機能を使うことで、よりわかりやすい授業を行うことができます。

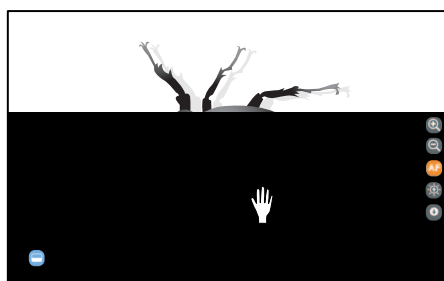
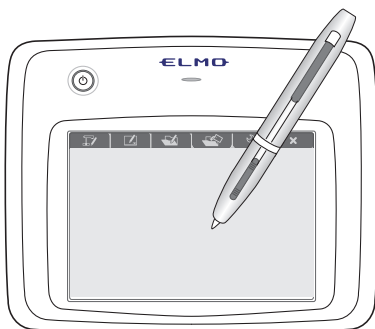
マスクを使う

マスクは表示されている書画カメラ映像の一部または全部を隠す機能です。解答や解説など、表示したくない部分を一時的に隠すことで、より効果的な授業を行うことができます。

- ① 左下の をタッチします。



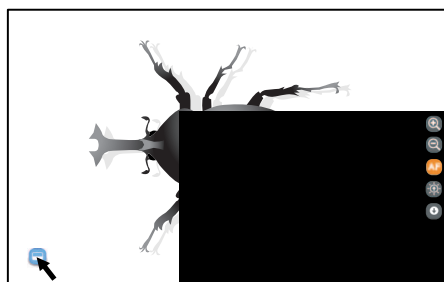
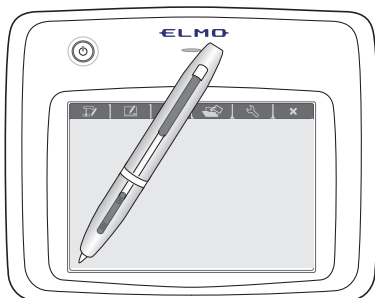
- ② 画面全体がマスクされますので、ドラッグでマスクを移動します。



注意

移動は、一度の操作で上下方向または左右方向にしか移動しません。
また、マウスカースールが画面端に接すると、移動が停止します。再度ドラッグを行うと移動することができます。

- ③ マスクを終了するには、左下の を再度タッチします。

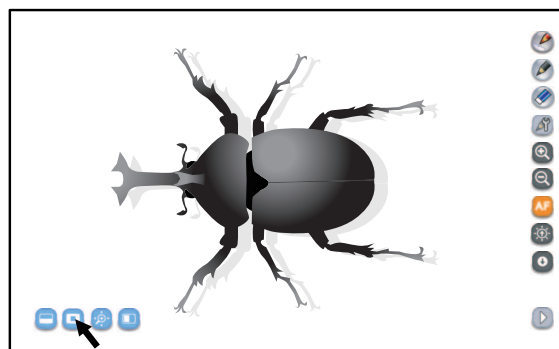


ハイライトを使う

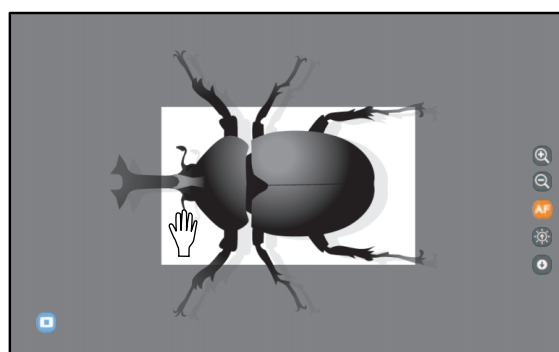
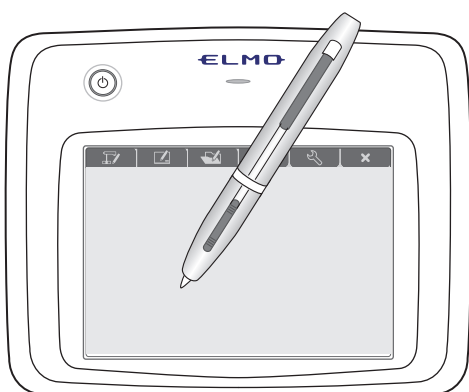
ハイライトは書画カメラ映像の一部に注目させる機能です。

注目させたい部分のみ強調させ表示させることにより、効果的な授業を行うことができます。

- ①** 左下の  をタッチします。



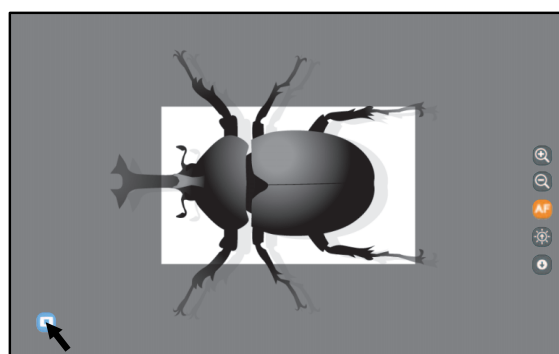
- ②** 画面にハイライト部分が表示されますので、ドラッグでハイライト部分を移動します。



注意

エキスパートモード時はハイライト以外の部分をドラッグすると、ハイライト範囲の変更が行えます。

- ③** ハイライトを終了するには、左下の  を再度タッチします。

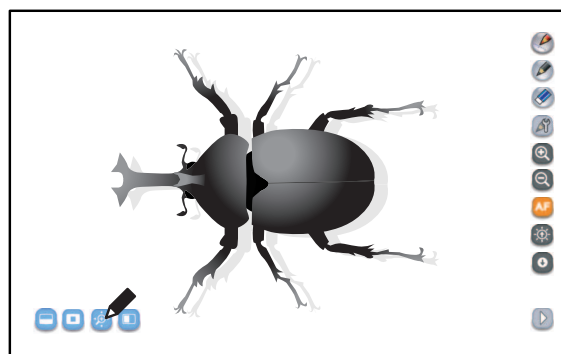
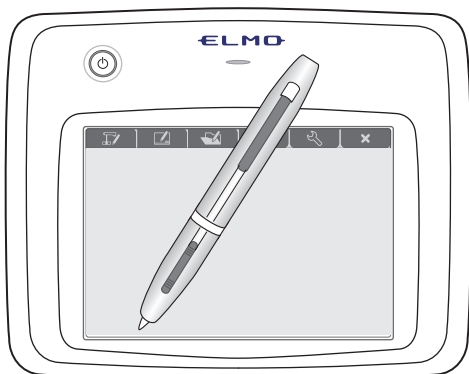


スクロールを使う

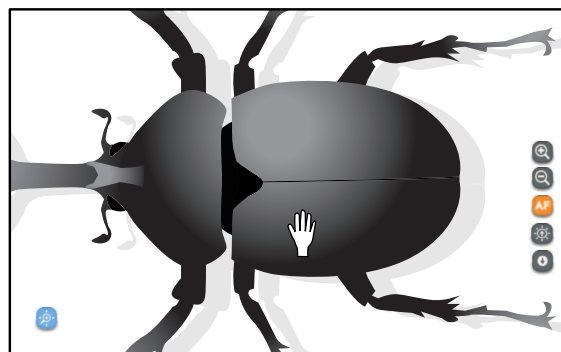
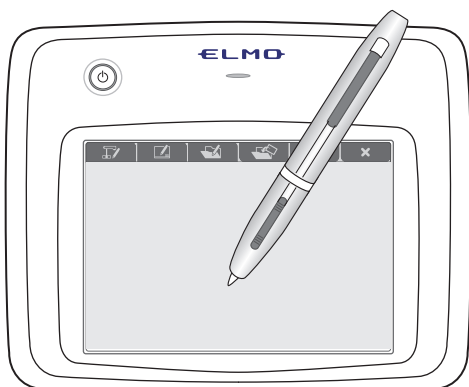
スクロールは書画カメラ映像の拡大を行う機能です。

小さく表示されている部分を一時的に拡大し、画像をペンで移動させることにより、効果的に授業を行うことができます。

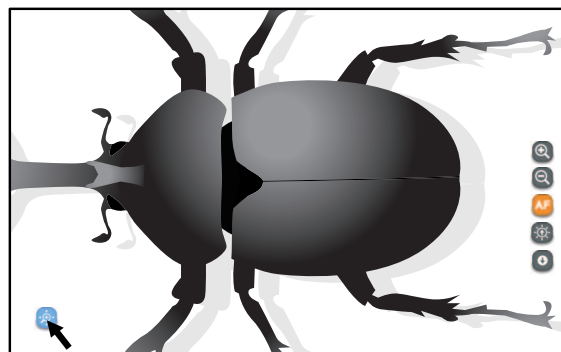
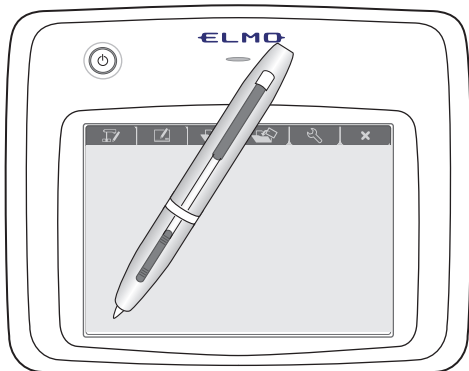
- ①** 左下の  をタッチします。



- ②** 画面に電子拡大された映像が表示されますので、ドラッグで電子拡大部分を移動します。



- ③** スクロールを終了するには、左下の  を再度タッチします。

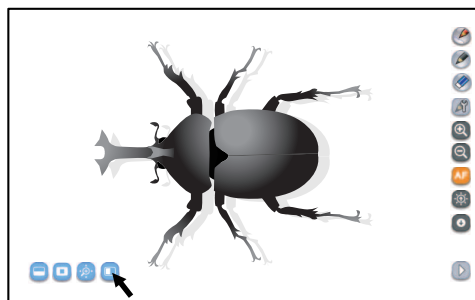


コンペアピクチャーを使う

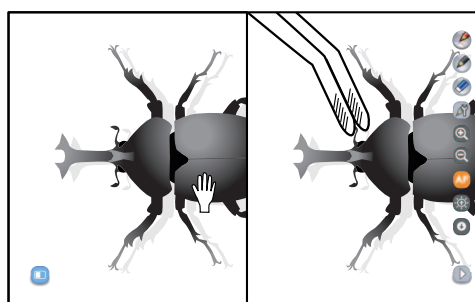
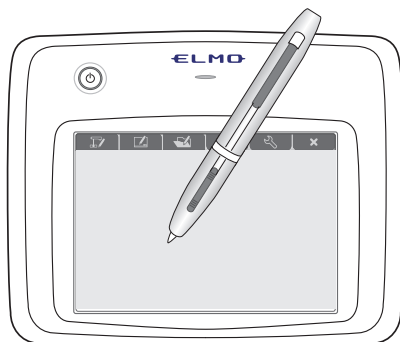
コンペアピクチャーは、ボタンをタッチした時に撮影される写真と現在の映像を並べて表示する機能です。

写真と映像を比較する場合に使うことで、より効果的な授業を行うことができます。
また、左右の画像の違いをペンタブレットで書き込みながら説明することができます。

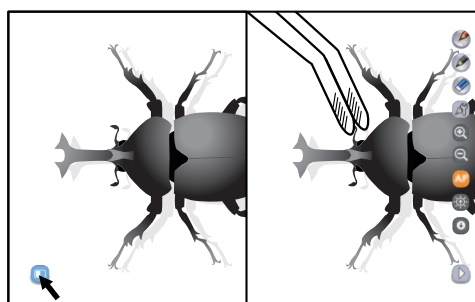
- ①** 左下の  をタッチします。



- ②** 画面が分割され、左にボタンをタッチした時に撮影される写真、右に現在の書画カメラ映像が表示されます。



- ③** コンペアピクチャーを終了するには、左下の  を再度タッチします。

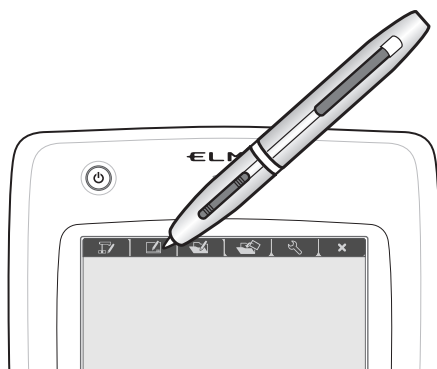


ホワイトボードモード

使う

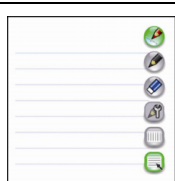
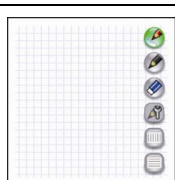
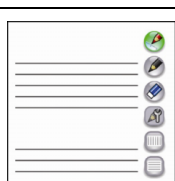
ホワイトボードモードでは、授業でよく使われるあらかじめ用意された背景（下表参照）を表示して、その上に描画することができます。

ペンタブレットの  ファンクションキーをタッチします。



背景を変更する

画面右側にあるメニューボタン（下表参照）をタッチして背景を選択します。

メニューボタン	モード	使用イメージ
	縦線	
	横線	
	グラフ用紙	
	五線譜	

	アルファベット練習帳	
	ホワイトボード	



注意 お客様が用意された写真を背景とするには、教材取り出しモードまたは教材作成モードで行います。詳しくは「**背景を変更する**」をご参照ください。

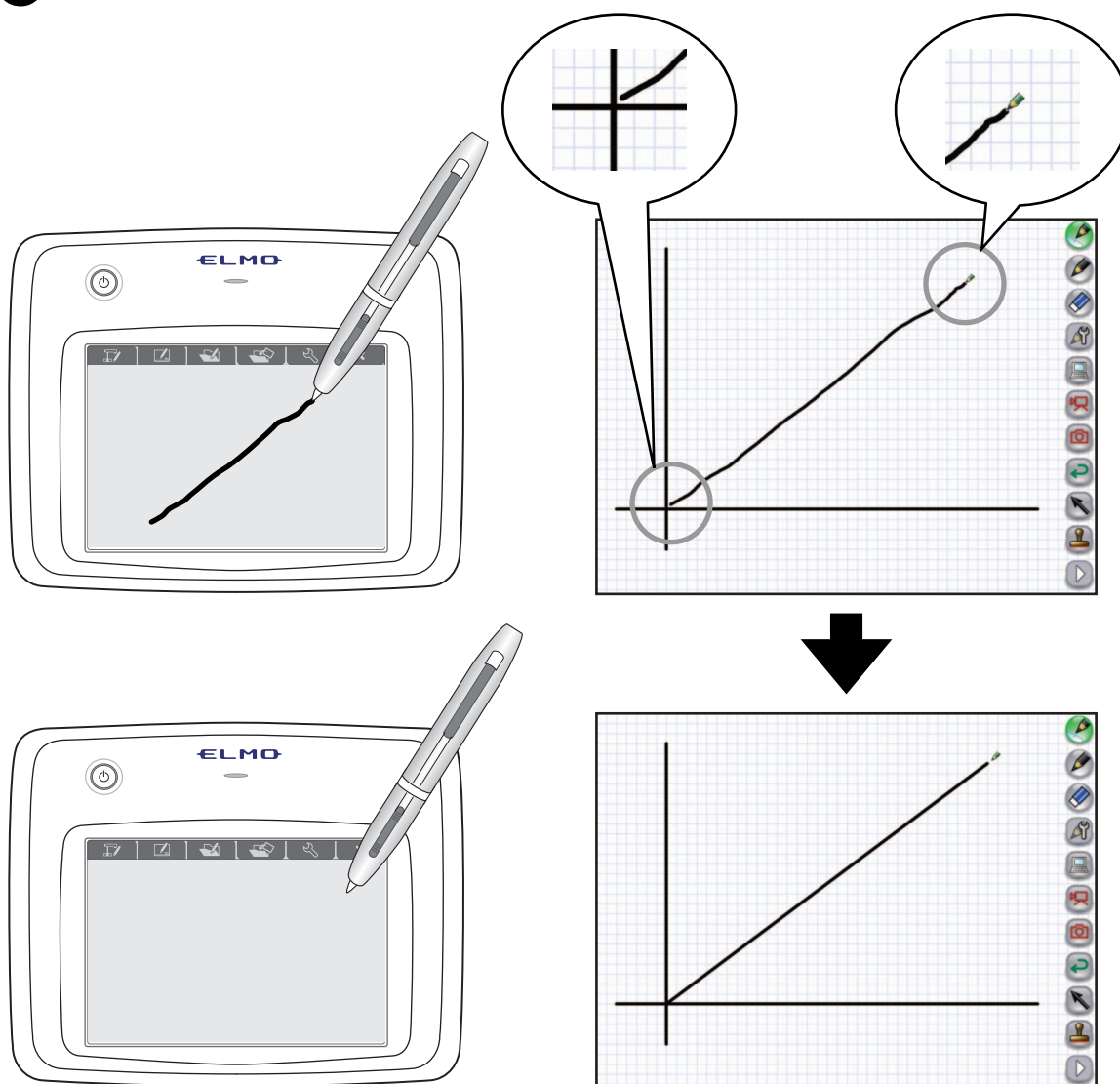
■ グラフ用紙を使う

グラフ用紙を選択時に直線ペンを使用すると、始点・終点をグラフの交点位置に補正処理をします。

1  直線ペンにタッチします。



② まっすぐな線を描きます。



直線に変換され、始点・終点がグラフの交差位置に補正されます。



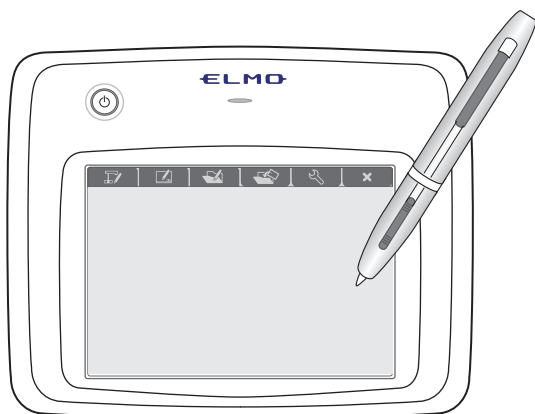
ペンの種類を変更するには〈ペンを設定する〉をご参照ください。

パソコン画面を背景にする

ホワイトボードモードでは、あらかじめ用意された背景以外にも、パソコンの画面を背景とすることができます。

■パソコンを操作する

- 1**  をタッチしてパソコンの画面にします。



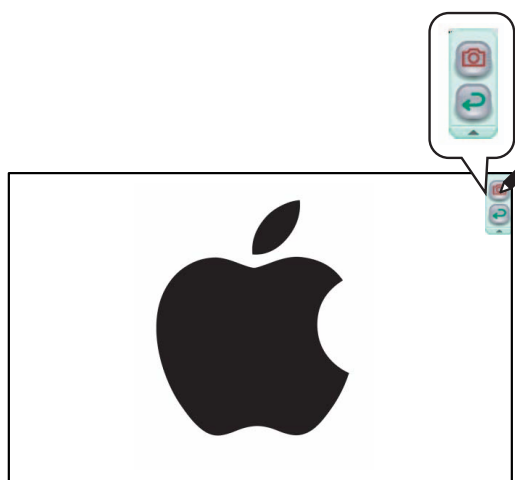
- 2** 他のアプリケーションを立ち上げ、マウスの代わりに使用します。



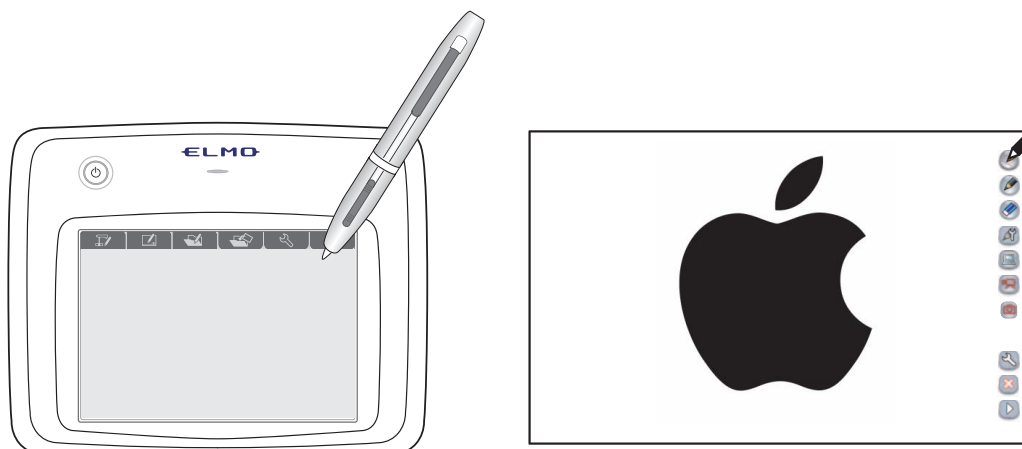
パソコンボタン  はメニューボタン下部の  をタッチしてメニューを切り替えると表示されます。

■パソコンに描画する

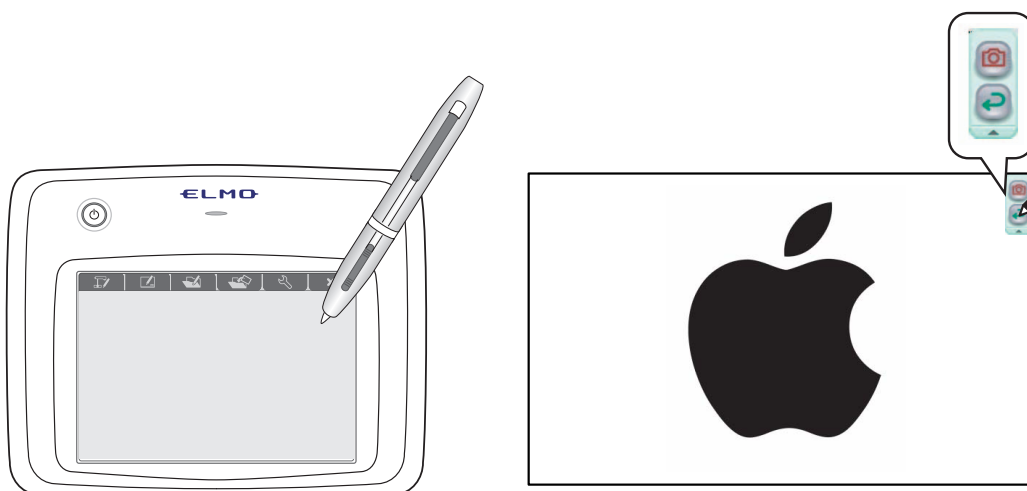
- 1**  をタッチすると現在のパソコン画面がキャプチャされます。



-
- ② ペンボタン  をタッチして描画します。



- ③ キャプチャせずに元の画面に戻る場合は、 をタッチします。

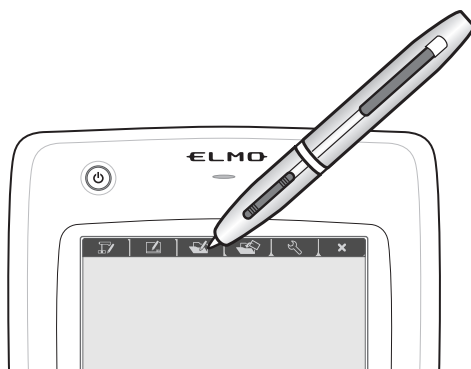


教材取り出しモード

教材取り出しモードでは、あらかじめ記録された写真・ビデオを再生することができます。

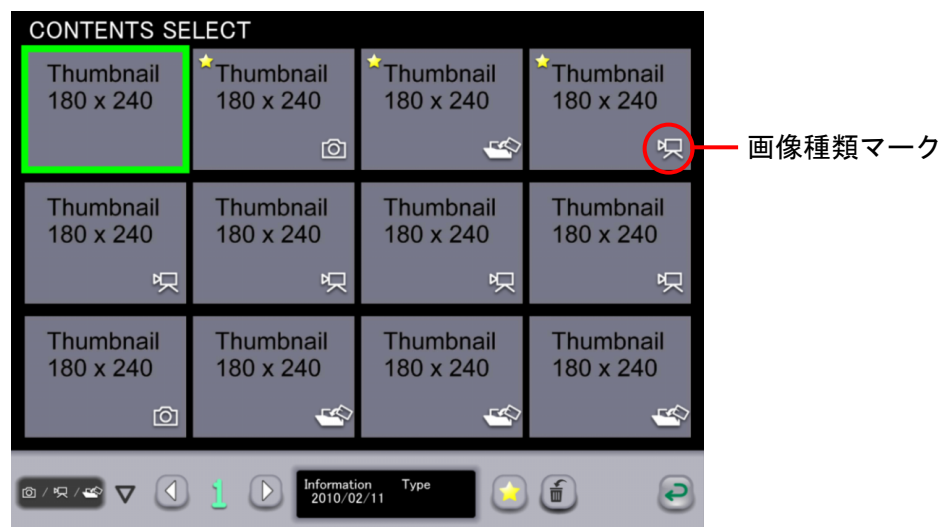
使う

ペンタブレットの  ファンクションキーをタッチします。



教材を選ぶ

ご覧になる写真またはビデオを選択します。



教材選択画面では、写真、ビデオ、教材作成モードで作成した教材を選択します。
教材は更新日時の新しい物から表示されますが、お気に入りの教材は更新日時に関わらず優先的に表示されます。
表示画像の下に画像の種類を表すマークが表示されます。

	写真マーク	写真を表すマークです。
---	-------	-------------

 ビデオマーク	ビデオを表すマークです。
 教材作成マーク	教材作成モードで作成した画像を表すマークです。 (再編集が可能です)

 フィルター	表示される教材を限定します。
 ページ	教材が一画面で表示できない場合、ページを変えることで選択することができます。
Information	選択した教材の更新日を表示します。
Type	選択した教材の種類を表示します。
 お気に入り	選択した教材をお気に入りにします。 お気に入りの教材は、教材選択画面で優先的に表示されます。
 削除画面	教材選択画面から削除画面に切り替えます。 切り替える前に選択した教材は、削除選択状態になります。
 キャンセル	教材選択を中止し、元のモードに戻ります。

ビデオを選ぶ

- ① 教材選択画面でビデオまたはビデオを含む教材を選択します。
- ② 下に表示されるボタンでビデオの操作を行います。

 再生速度	ビデオの再生速度を変更します。ボタンをタッチすると再生速度が変化します。
 再生／一時停止	ビデオの再生の一時停止／再生を行います。
 シークバー	ビデオの再生位置を変更します。
 音量	ビデオに音声がある場合に、音量を調整します。  ・お使いのパソコンにサウンドデバイスが無い場合、表示されません。 ・再生速度が標準状態でない場合、操作できません。

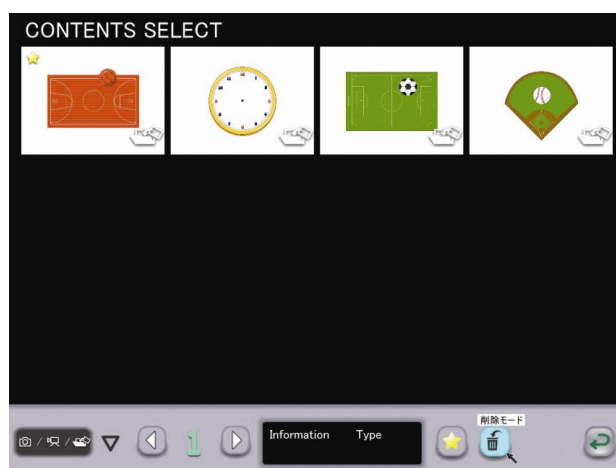


ビデオを表示する場合、パソコンの環境や状態によってはビデオの映像が遅くなったり、操作に対する反応が遅くなったりする場合があります。
他のアプリケーションを終了すると、改善する場合があります。

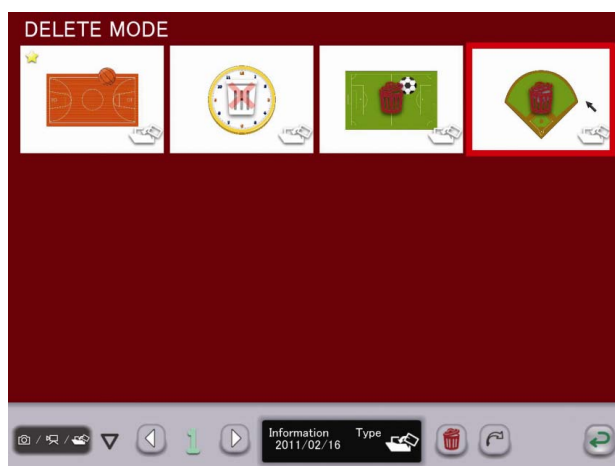
教材を削除する

不要になった教材を削除します。

- ①**  をタッチして削除画面に切り替えます。



- ②** 削除する教材をタッチして選択します。選択した教材が強調表示され、 が表示されます。
- ③** 複数の教材を削除する場合は、続けて選択します。



削除選択をキャンセルする場合は、再度教材にタッチしてください。



が消えます。

- 4  をタッチします。確認メッセージが表示されるので、削除してよければ「はい」を選択します。



- 5  または  をタッチして削除画面から戻ります。

 フィルター	表示される教材を限定します。
 ページ	教材が一画面で表示できない場合、ページを変えることで選択することができます。
Information	選択した教材の更新日を表示します。
Type	選択した教材の種類を表示します。
 削除	選択した教材を削除します。 削除された教材は復元できませんので、削除する場合は注意してください。  注意 教材の背景で使用されているビデオや写真を削除すると、教材を正しく表示できなくなります。
 選択画面に戻る	教材選択画面に戻ります。 削除選択状態は解除されます。
 キャンセル	教材選択を中止し、元のモードに戻ります。 削除選択状態は解除されます。



削除画面で選択された教材が、フィルター切り替えにより非表示になった場合や、別ページに移動した場合も、削除選択は保持され、 クリック時に削除されます。

教材取り出しモード／教材作成モードの「背景選択」および教材作成モードの「開く」で表示される教材は共通です。

いずれかのモードで削除すると、全ての選択画面からデータが消去されます。

■ 削除できない教材

データ保護のため、以下の教材は削除することができません。

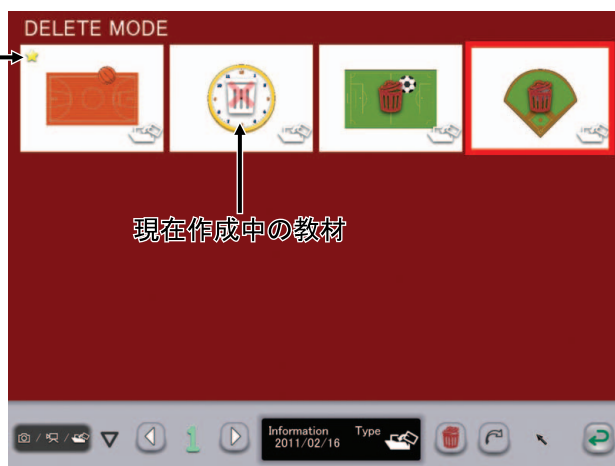
削除できない教材にはマークがつきます。

はじめから登録済みの教材	
現在作成中の教材	
お気に入り設定した教材	

はじめから登録済みの教材



お気に入り設定した教材



メニュー一覧

表示されるボタンは、モードごとで異なります。

また、「エキスパート」設定を行った場合、通常表示されないメニューが表示されるようになります。

エキスパート設定

「設定」の「エキスパート」設定でエキスパートを選択すると、以下の動作が変わります。

- ・各モードで表示されるメニュー内容が増えます。
- ・ハイライト機能のハイライト範囲の変更が行えるようになります。

これらの機能を使いこなすことで、より柔軟な操作が可能となります。

書画カメラモード

■メニューボタン

 1ペン	1ペンを選択します。 初期状態では赤色の直線ペンとなります。「ペン設定」で、このペンの設定を変えることができます。
 2ペン	2ペンを選択します。 初期状態では黒色の鉛筆となります。「ペン設定」で、このペンの設定を変えることができます。
 全消去	画面に描画されたすべての線を消去します。 描画を一部消去したい場合は消したい部分にカーソルを合わせ、ペンの消しゴムボタンを押しながらタッチをします。〈部分消去〉をご参照ください。
 ペン設定	1ペン、2ペンの設定を表示します。 詳しくは〈ペンを設定する〉をご参照ください。
 ズーム＋／－	書画カメラのズーム制御機能です。
 オートフォーカス	書画カメラのオートフォーカス機能です。
 明るさ＋／－	書画カメラの明るさ制御機能です。
 パソコン操作	パソコンを操作します。 パソコン画面で  をタッチすると、背景がパソコンのキャプチャ画像の〈ホワイトボードモード〉になります。  をタッチすると、ペンタブレットソフトウェア（Image Mate Accent）の画面に戻ります。

 授業録画開始／停止	現在表示されている内容とパソコンに入力された音声 をビデオとして保存します。 背景に表示されている書画カメラや背景画、描画した線 などが録画されますが、ボタンやカーソル等は録画され ません。 保存したビデオは「教材取り出しモード」で再生す ることができます。
 キャプチャ	現在表示されている内容を写真として保存します。 背景に表示されている書画カメラや背景画、描画した線 などが記録されますが、ボタンやカーソル等は記録され ません。 写真は「教材取り出しモード」で表示することがで きます。
 設定	ペンの設定、ペンタブレットの設定を行うことができま す。
 終了	ペンタブレットソフトウェア（Image Mate Accent）を 終了します。
 次メニュー	メニューが一画面で表示されない場合に表示されます。 このボタンで次のメニューに移動します。 最後のメニューが表示されている時に、このボタンをタ ッチすると、最初のメニューが表示されます。
 画面停止	書画カメラの停止／再生を行います。
 1つ戻る	直前に行った描画編集動作（ペンで描く、消しゴムで消 す等）をやり直すことができます。戻る回数には上限が あります。
 選択	ペンで書いた線を選択し、移動や大きさを変更します。
 スタンプ	スタンプを挿入することができます。 なお、スタンプは追加することができます。 詳しくは〈スタンプを追加する〉をご参照ください。
 書画カメラモード	書画カメラモードになります。
 ホワイトボードモード	ホワイトボードモードになります。
 教材取り出しモード	教材取り出しモードになります。
 教材作成モード	教材作成モードになります。

網掛けの部分はエキスパートモードで使えるようになります。
詳しくは〈エキスパート設定〉をご参照ください。

■サブメニューボタン

 マスク	表示されている書画カメラ映像の一部または全部を隠す機能です。 マスク範囲はドラッグすることで移動することができます。 移動は、一度の操作で上下方向または左右方向にしか移動しません。また、マスク範囲が画面端に接すると、移動が停止します。再度ドラッグを行うと移動することができます。
 ハイライト	書画カメラ映像の一部に注目させる機能です。 ハイライト部分をドラッグすることで移動することができます。 また、エキスパートモード時はハイライト以外の部分をドラッグすると、ハイライト範囲の変更が行えます。
 スクロール	書画カメラ映像の電子拡大を行う機能です。 小さく表示されている部分を拡大する場合に使用します。  注意 書画カメラのズーム機能とは異なります。
 コンペアピクチャー	ボタンをタッチした時に撮影される写真と現在の映像を並べて表示する機能です。画面左に写真、右に現在の映像が表示されます。 写真と映像を比較する場合に使用します。 左右の画像の違いをペンタブレットで書き込みながら説明することができます。

ホワイトボードモード

■メニューボタン

 1 ペン	1 ペンを選択します。 初期状態では赤色の直線ペンとなります。「ペン設定」で、このペンの設定を変えることができます。
 2 ペン	2 ペンを選択します。 初期状態では黒色の鉛筆となります。「ペン設定」で、このペンの設定を変えることができます。
 全消去	画面に描画されたすべての線を消去します。 描画を一部消去したい場合は消したい部分にカーソルを合わせ、ペンの消しゴムボタンを押しながらタッチをします。〈部分消去〉をご参照ください。
 ペン設定	1 ペン、2 ペンの設定を表示します。 詳しくは〈ペンを設定する〉をご参照ください。
 縦線背景	背景を縦線にします。
 横線背景	背景を横線にします。
 グラフ用紙背景	背景をグラフ用紙にします。
 五線譜背景	背景を五線譜にします。
 アルファベット練習帳背景	背景をアルファベット練習帳にします。
 ホワイトボード背景	背景をホワイトボードにします。
 パソコン操作	パソコンを操作します。 パソコン画面で  をタッチすると、背景がパソコンのキャプチャ画像になります。  をタッチすると、ペンタブレットソフトウェア（Image Mate Accent）の画面に戻ります。
 授業録画開始／停止	現在表示されている内容とパソコンに入力された音声をビデオとして保存します。 背景に表示されている書画カメラや背景画、描画した線などが録画されますが、ボタンやカーソル等は録画されません。 保存したビデオは「  教材取り出しモード」で再生することができます。

 キャプチャ	現在表示されている内容を写真として保存します。 背景に表示されている書画カメラや背景画、描画した線などが記録されますが、ボタンやカーソル等は記録されません。 写真は「  教材取り出しモード」で表示することができます。
 設定	ペンの設定、ペンタブレットの設定を行うことができます。
 終了	ペンタブレットソフトウェア（Image Mate Accent）を終了します。
 次メニュー	メニューが一画面で表示されない場合に表示されます。 このボタンで次のメニューに移動します。 最後のメニューが表示されている時に、このボタンをタッチすると、最初のメニューが表示されます。
 1つ戻る	直前に行った描画編集動作（ペンで描く、消しゴムで消す等）をやり直すことができます。戻る回数には上限があります。
 選択	ペンで書いた線を選択し、移動や大きさを変更します。
 スタンプ	スタンプを挿入することができます。 なお、スタンプは追加することができます。 詳しくは〈スタンプを追加する〉をご参照ください。
 書画カメラモード	書画カメラモードになります。
 ホワイトボードモード	ホワイトボードモードになります。
 教材取り出しモード	教材取り出しモードになります。
 教材作成モード	教材作成モードになります。

網掛けの部分はエキスパートモードで使用できるようになります。
詳しくは〈エキスパート設定〉をご参照ください。

教材取り出しモード

■メニューボタン

 1 ペン	1 ペンを選択します。 初期状態では赤色の直線ペンとなります。「ペン設定」で、このペンの設定を変えることができます。
 2 ペン	2 ペンを選択します。 初期状態では黒色の鉛筆となります。「ペン設定」で、このペンの設定を変えることができます。
 全消去	画面に描画されたすべての線を消去します。 描画を一部消去したい場合は消したい部分にカーソルを合わせ、ペンの消しゴムボタンを押しながらタッチをします。〈部分消去〉をご参照ください。
 ペン設定	1 ペン、2 ペンの設定を表示します。 詳しくは〈ペンを設定する〉をご参照ください。
 パソコン操作	パソコンを操作します。 パソコン画面で  をタッチすると背景がパソコンのキャプチャ画像の〈ホワイトボードモード〉になります。  をタッチすると、ペンタブレットソフトウェア（Image Mate Accent）の画面に戻ります。
 授業録画開始／停止	現在表示されている内容とパソコンに入力された音声をビデオとして保存します。 背景に表示されている書画カメラや背景画、描画した線などが録画されますが、ボタンやカーソル等は録画されません。 保存したビデオは「  教材取り出しモード」で再生することができます。
 キャプチャ	現在表示されている内容を写真として保存します。 背景に表示されている書画カメラや背景画、描画した線などが記録されますが、ボタンやカーソル等は記録されません。 写真は「  教材取り出しモード」で表示することができます。
 設定	ペンの設定、ペンタブレットの設定を行うことができます。
 終了	ペンタブレットソフトウェア（Image Mate Accent）を終了します。
 次メニュー	メニューが一画面で表示されない場合に表示されます。 このボタンで次のメニューに移動します。 最後のメニューが表示されている時に、このボタンをタッチすると、最初のメニューが表示されます。

 1つ戻る	直前に行った描画編集動作（ペンで描く、消しゴムで消す等）をやり直すことができます。戻る回数には上限があります。
 選択	ペンで書いた線を選択し、移動や大きさを変更します。
 スタンプ	スタンプを挿入することができます。 なお、スタンプは追加することができます。 詳しくは〈スタンプを追加する〉をご参照ください。
 書画カメラモード	書画カメラモードになります。
 ホワイトボードモード	ホワイトボードモードになります。
 教材取り出しモード	教材取り出しモードになります。
 教材作成モード	教材作成モードになります。

網掛けの部分はエキスパートモードで使用できるようになります。

詳しくは〈エキスパート設定〉をご参照ください。

■サブメニューボタン

 マスク	表示されている書画カメラ映像の一部または全部を隠す機能です。 マスク範囲はドラッグすることで移動することができます。 移動は、一度の操作で上下方向または左右方向にしか移動しません。また、マスク範囲が画面端に接すると、移動が停止します。再度ドラッグを行うと移動することができます。
 ハイライト	書画カメラ映像の一部に注目させる機能です。 ハイライト部分をドラッグすることで移動することができます。 また、エキスパートモード時はハイライト以外の部分をドラッグすると、ハイライト範囲の変更が行えます。
 スクロール	書画カメラ映像の電子拡大を行う機能です。 小さく表示されている部分を拡大する場合に使用します。  注意 書画カメラのズーム機能とは異なります。
 コンペアピクチャー	ボタンをタッチした時に撮影される写真と現在の映像を並べて表示する機能です。画面左に写真、右に現在の映像が表示されます。 写真と映像を比較する場合に使用します。 左右の画像の違いをペンタブレットで書き込みながら説明することができます。

機能一覧

各モードで使用できる機能は以下のとおりです。

○・・・常時使用することができます。

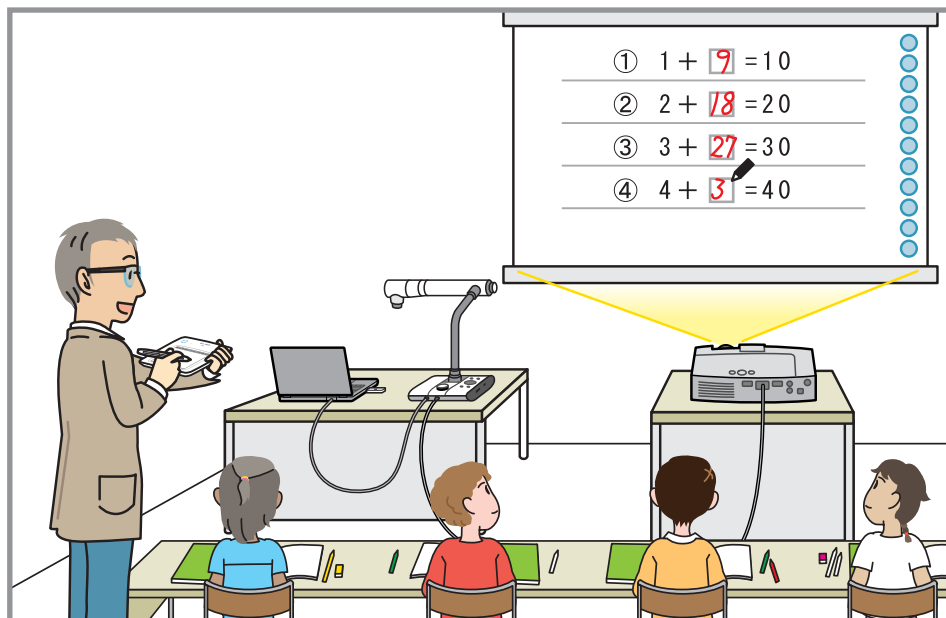
－・・・使用できません。

△・・・エキスパート設定、書画カメラの接続状態、書画カメラの状態によっては使用することができません。

ボタン名	書画カメラ モード	ホワイトボード モード	教材取り出し モード
1 ペン	○	○	○
2 ペン	○	○	○
全消去	○	○	○
ペン設定	○	○	○
ズーム＋／－	○	－	－
オートフォーカス	○	－	－
明るさ＋／－	○	－	－
授業録画開始／停止	○	○	○
キャプチャ	○	○	○
縦線・横線・グラフ用紙・五線譜・ アルファベット練習帳・ ホワイトボード背景	－	○	－
設定	○	○	○
終了	○	○	○
次メニュー	○	○	△
パソコン操作	○	○	○
スタンプ	△	△	△
1 つ戻る	△	△	△
選択	△	△	△
画面停止／再開	△	－	－
文字入力	－	－	－
描画編集	－	－	－
書画カメラモード	△	△	△
ホワイトボードモード	△	△	△
教材取り出しモード	△	△	△
教材作成モード	△	△	△
マスク	○	－	○
ハイライト	○	－	○
スクロール	○	－	○
コンペアピクチャー	○	－	○
再生速度	－	－	△
再生／一時停止	－	－	△
音量変更	－	－	△

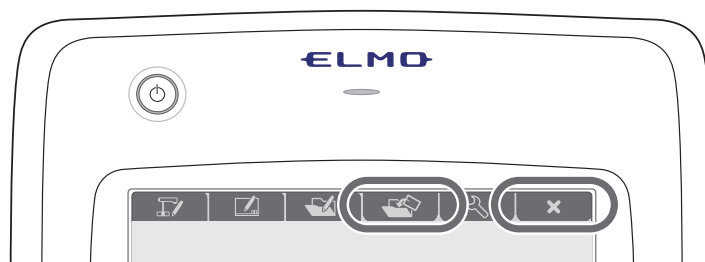
教材を作る

この章では、授業で使う教材を作成する方法をご紹介します。



この章では教材作成モードについて説明します。

授業で使うための教材を作るためには、最初にペンタブレット上部にあるファンクションキーをタッチしてください。



モード	ファンクションキー	説明
教材作成モード	 	授業で使用する教材を作成するモードです。 書画カメラの映像、写真、スタンプ、ビデオなどを使用して教材を作成します。
終了	 	ペンタブレットソフトウェア（Image Mate Accent）を終了します。

各モードはペンタブレットの上部にあるファンクションキーまたは「エキスパート」設定の時にメニューボタンで変更することができ、描いた線は、モードを変えても保持されます。

教材作成モード

授業の前に、教材作成モードでお手本のビデオを作成したり、精細な描画をあらかじめ作成したりすると、円滑な授業を行うことができます。

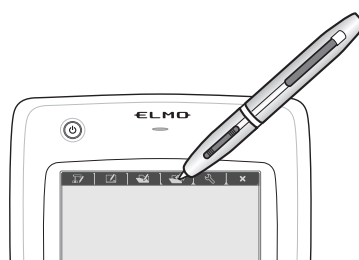
教材作成モードで作られた教材は、保存後でも再編集が可能です。



注意 教材の新規作成や開く動作を行う場合やモードを変更する場合は、保存されていない教材は破棄されますのでご注意ください。

使う

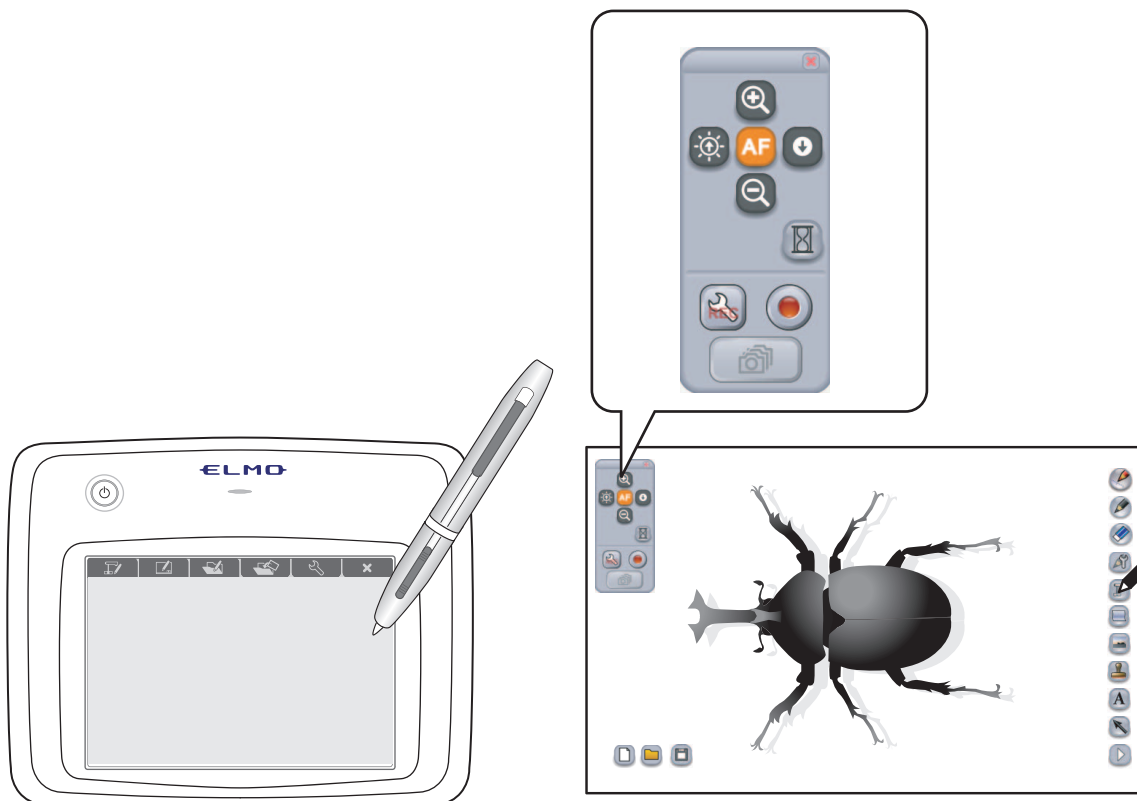
ペンタブレットの  ファンクションキーをタッチします。



書画カメラを使って教材を作る

■写真を使った教材を作成する

- ① 画面右の  をタッチし、書画カメラリモコンを表示します。
(書画カメラが接続されていない場合、表示されません。)

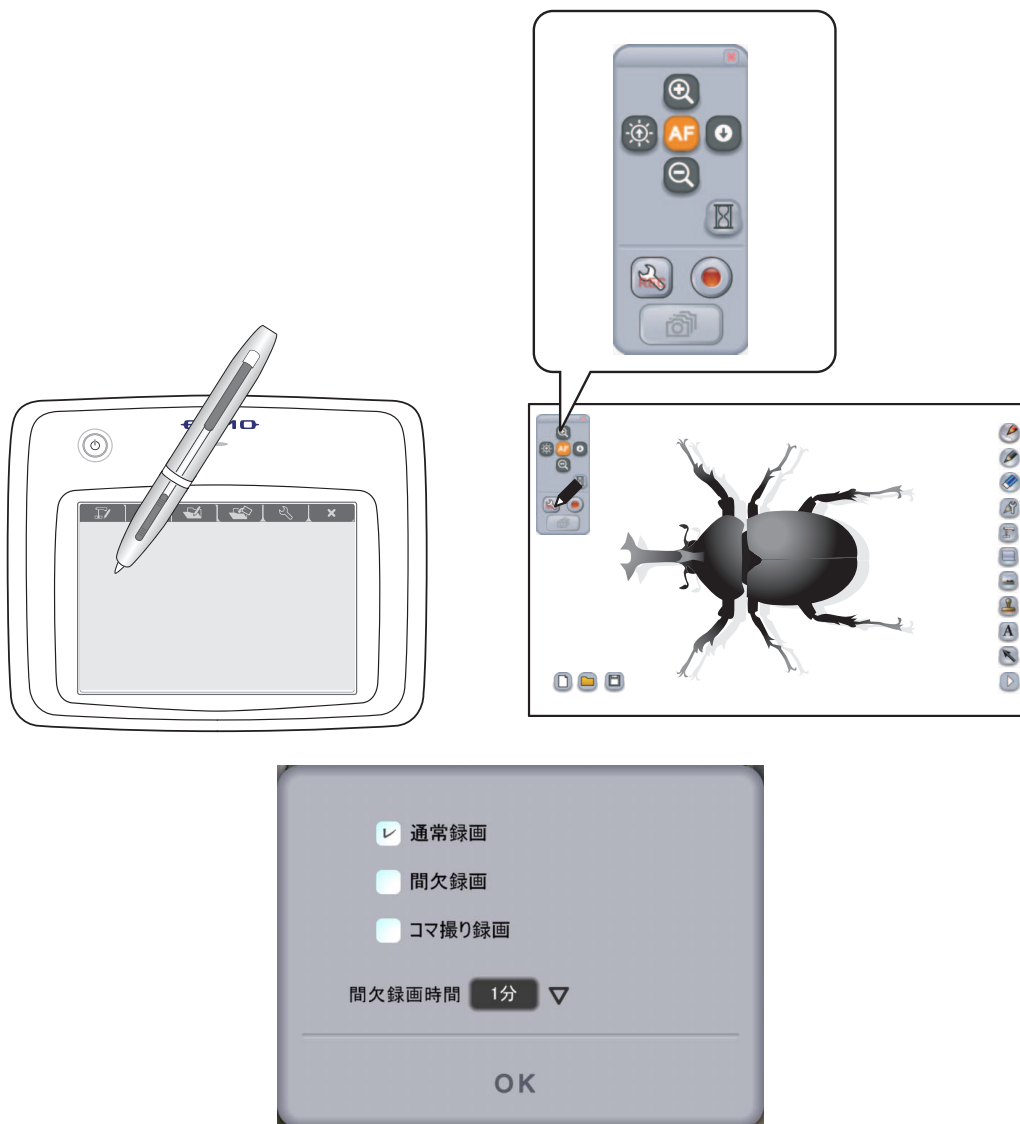


- ② 書画カメラリモコンの   (ズーム+/-ボタン)、 (オートフォーカスボタン)、  (明るさ+/-ボタン) をタッチして操作を行います。
- ③ 書画カメラの映像を背景に「写真の挿入」や「文字の入力」「スタンプ画像の挿入」などを行うことができます。

※「写真の挿入」／「文字の入力」／「スタンプ画像の挿入」は次ページ以降に記載の各項目をご参照ください。

■ビデオを使った教材を作成する

1  をタッチして録画設定を行います。



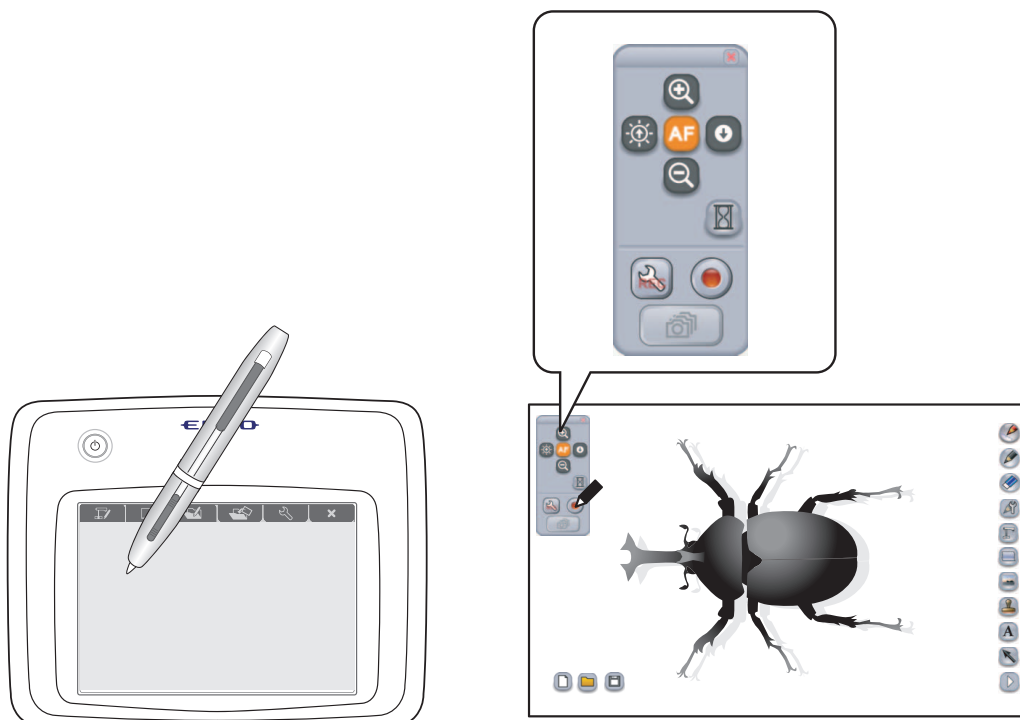
書画カメラのビデオを作成する録画には、以下の種類があります。
モードや用途によって記録内容が異なりますので、適切に選択してください。

名前	内容
通常録画	書画カメラの映像をビデオに保存します。
間欠録画	書画カメラの映像を、「間欠録画時間」で設定された時間ごとに保存を行います。長時間で変化する被写体を保存することを目的とします。
コマ撮り録画	書画カメラの映像を、コマ撮り録画ボタンをタッチするごとに保存します。被写体を変化させながら保存をすると、アニメーションのようなビデオができます。



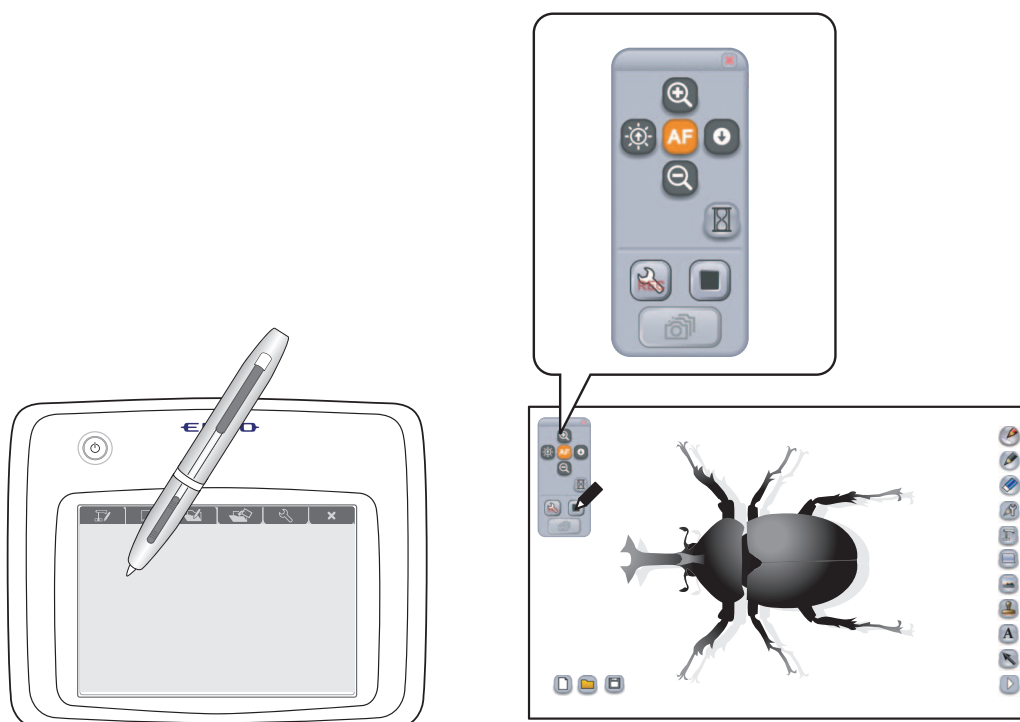
教材作成モードでの録画は、他のモードでの録画と異なり、書画カメラの映像だけをビデオに保存します。
描画した線やボタン、カーソル、音声等は保存されません。

② をタッチし、録画を開始します。



コマ撮り録画の場合、 をタッチすることにより録画を行います。

③ 録画を終了するには、 をタッチします。



注意

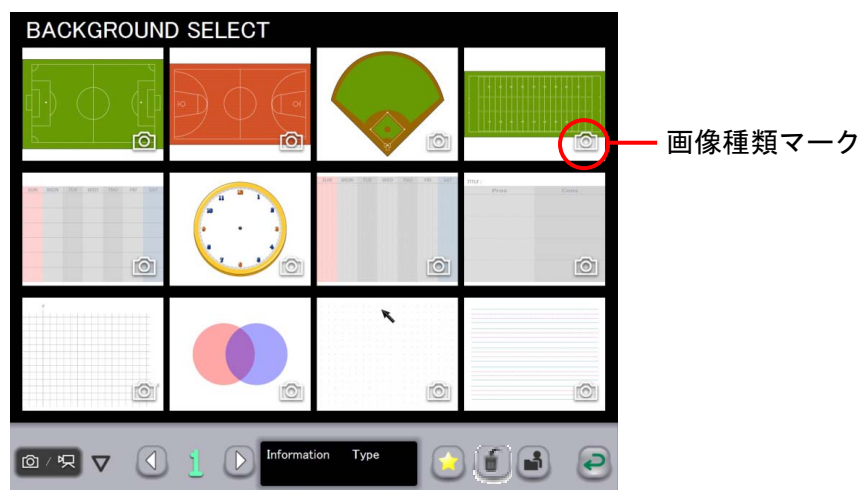
「教材作成モード」から他のモードに変更すると、録画が停止します。

書画カメラ以外で教材を作る

■背景を変更する

教材作成モードでは、背景をペンタブレットソフトウェア（Image Mate Accent）で作成した写真やビデオから、選択することができます。

- 1 画面右の  をタッチし、背景選択画面から背景として使用する写真やビデオを選択します。



選択画面では、写真、ビデオを選択します。

写真、ビデオは更新日時の新しい物から表示されますが、お気に入りの背景は更新日時に関わらず優先的に表示されます。

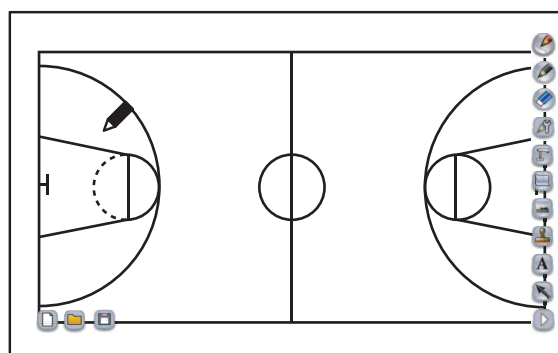
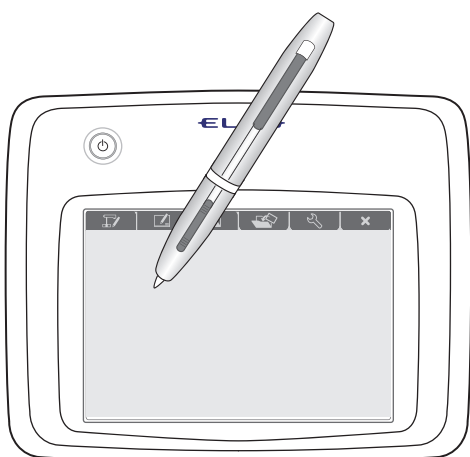
表示画像の下に画像の種類を表すマークが表示されます。

 写真マーク	写真を表すマークです。
 ビデオマーク	ビデオを表すマークです。

 フィルター	表示される背景を限定します。
 ページ	背景が一画面で表示できない場合、ページを変えることで選択することができます。
Information	選択した背景の更新日を表示します。
Type	選択した背景の種類を表示します。
 お気に入り	選択した背景をお気に入りにします。 お気に入りの背景は、背景選択画面で優先的に表示されます。

 削除画面	背景選択画面から削除画面に切り替えます。 切り替える前に選択した教材は、削除選択状態になります。
 ファイル選択	パソコンに保存されている写真やビデオを選択します。  注意 パソコンに保存されている写真は、写真の種類によっては使用できない場合があります。
 キャンセル	背景選択を中止し、元のモードに戻ります。

② 選択された写真やビデオが背景に表示されます。

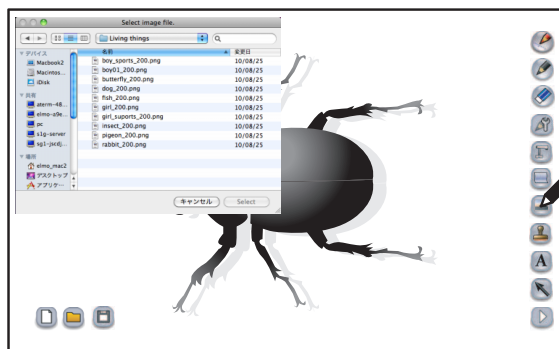
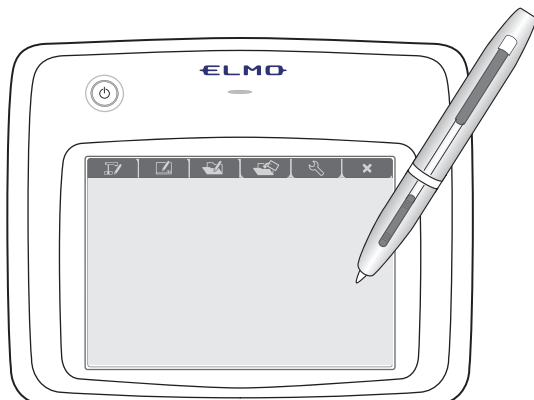


 注意	ビデオを表示する場合、パソコンの環境や状態によってはビデオの映像が遅くなったり、操作に対する反応が遅くなったりする場合があります。 他のアプリケーションを終了すると、改善する場合があります。
---	--

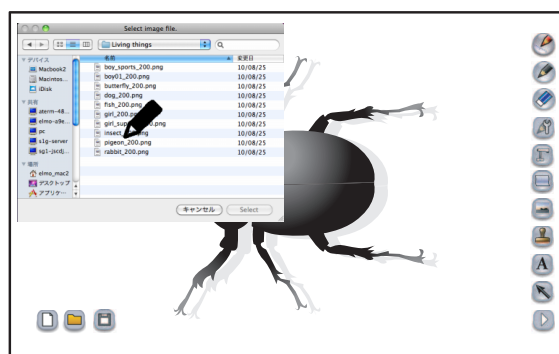
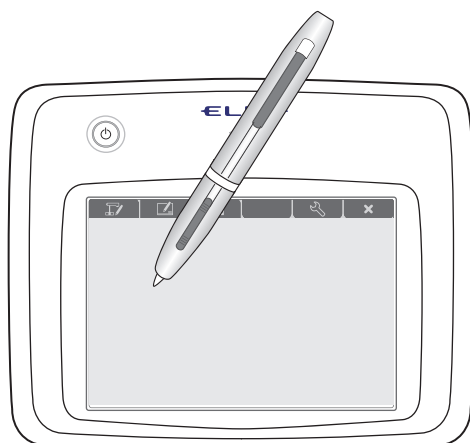
■写真を挿入する

教材作成モードでは、パソコンに保存されている写真を挿入することができます。

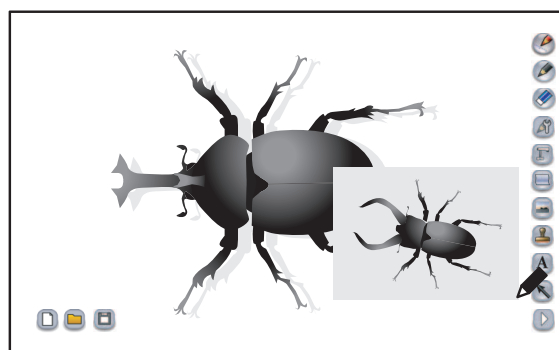
- ①** 画面右の  をタッチします。



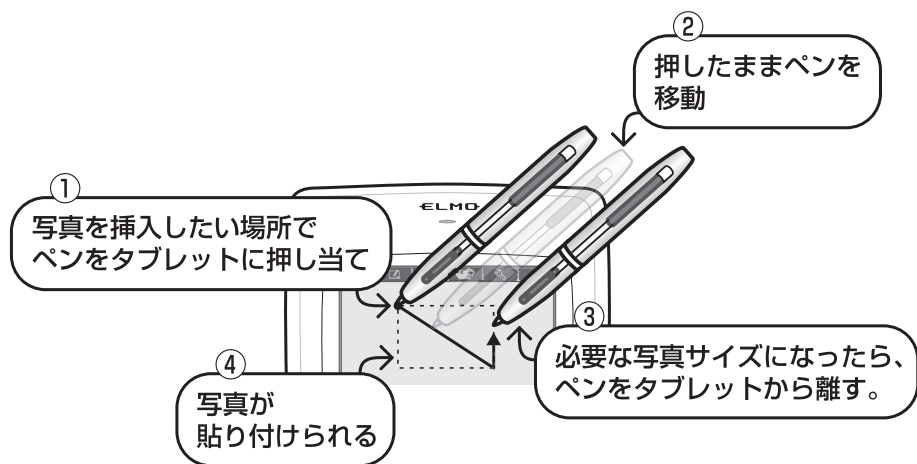
- ②** パソコンに保存されている写真を選択します。



- ③** 画面上でドラッグアンドドロップを行うと、選択された写真が挿入されます。



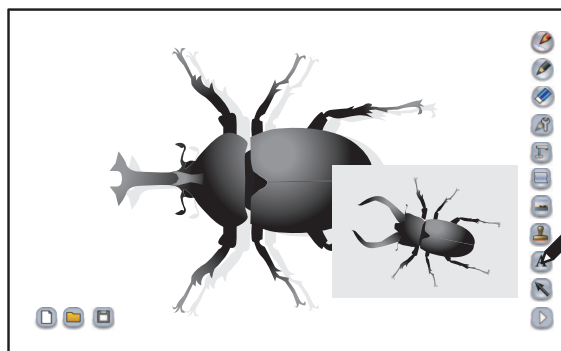
パソコンに保存されている写真は、写真の種類によっては使用できない場合があります。



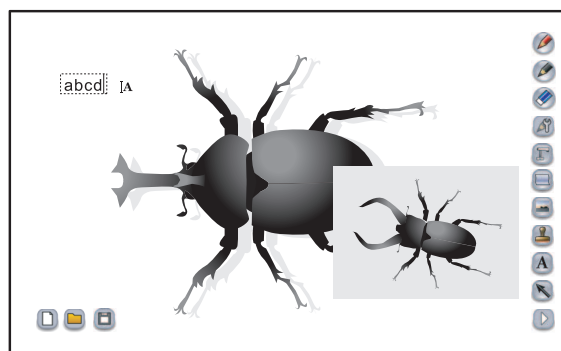
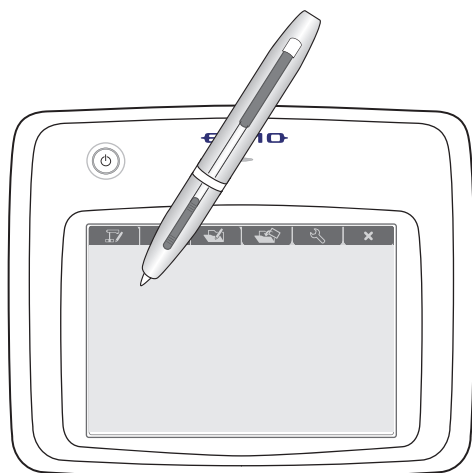
■文字の入力方法

教材作成モードでは、パソコンのキーボードを使って、文字を入力することができます。

① 画面右の **A** をタッチします。

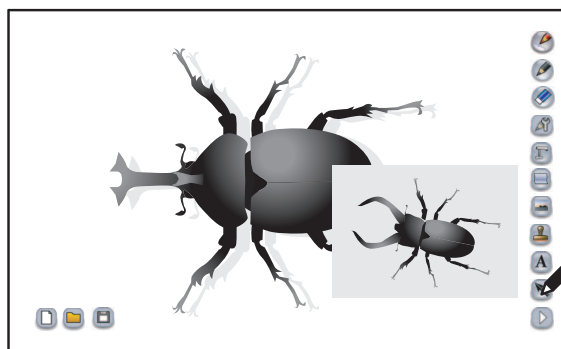


② 画面上でタッチを行うと、キーボード入力が行えるようになります。入力された文字は、最後に選択したペンで表示されます。

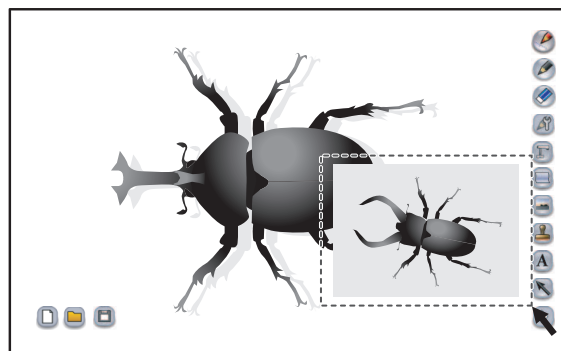


■素材を移動・拡大する

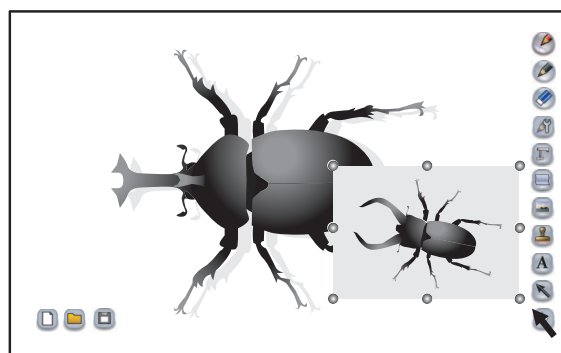
- ①** 画面右の  をタッチします。



- ②** 画面上でドラッグを行うと、ドラッグした範囲の線や写真が選択されます。

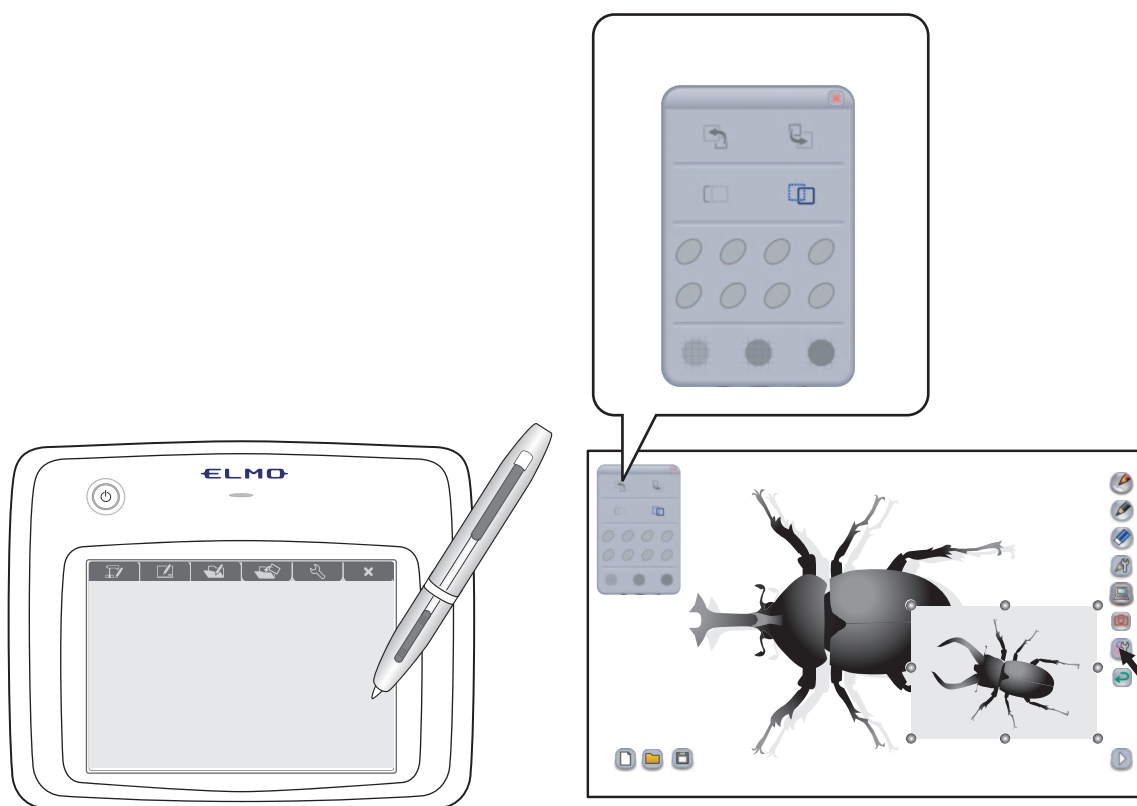


- ③** 選択した線や写真は、ドラッグで移動をすることができます。



■素材を加工する

- 1 画面右の  をタッチして、描画編集画面を表示します。



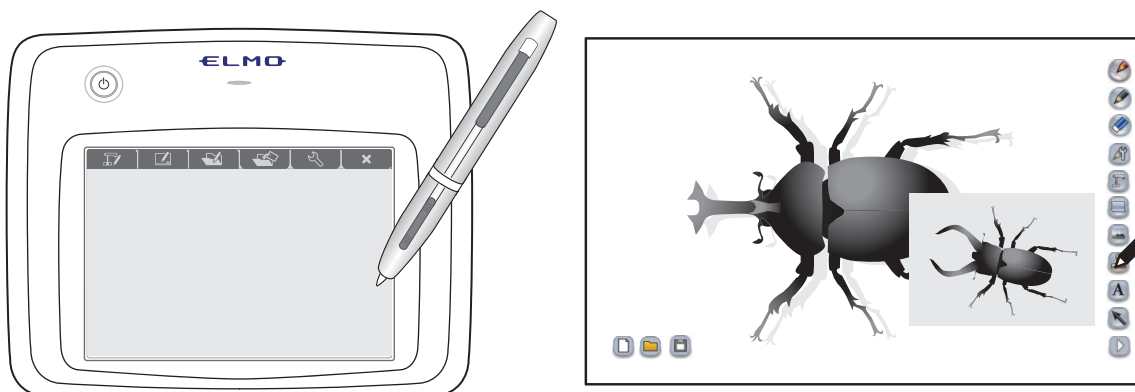
描画編集画面では、選択した線や写真、文字を変更できます。

  前へ／後ろへ	選択した線や写真の配置を、他の線や写真の前または後ろに移動します。重なり合った線や写真の配置を変更します。
  コピー／貼り付け	選択した線や写真をコピーまたは貼り付けします。同じ線や写真を複製する場合に使用します。
 色変更	選択した線や文字の色を変更します。
 透過度変更	選択した線の透過度を変更します。 マーカーペンで描いた場合のみ透過度を変更できます。

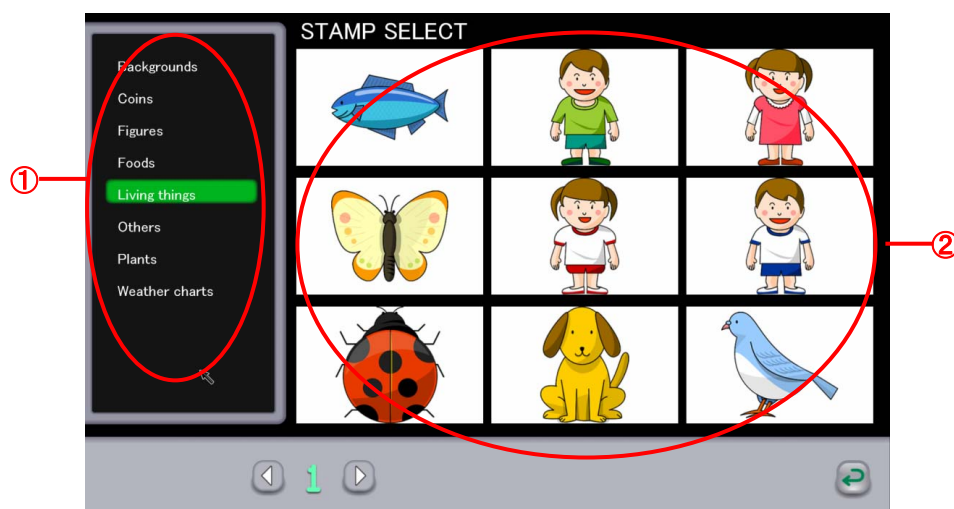
■スタンプ機能を使う

スタンプは、準備されているイラストを教材作成時に挿入できる機能です。
バスケットボールの戦術や配置など、バスケットコートスタンプを使うことで、
手軽に教材を作成することができます。

① 画面右の をタッチします。

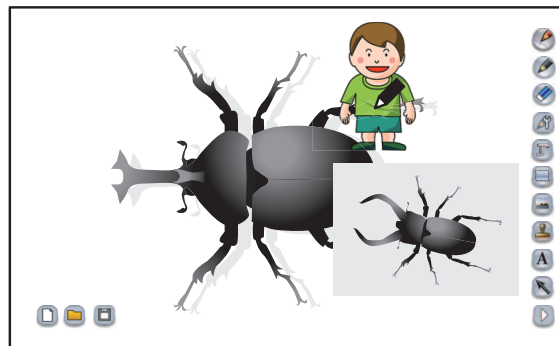


② スタンプ選択画面から、使用するスタンプを選択します。



①グループ一覧	スタンプが保存されているグループの一覧が表示されます。
②スタンプ選択画面	グループ内に入っているスタンプの一覧が表示されます。
 ページ	スタンプが一画面で表示できない場合、ページを変えることで選択することができます。
 キャンセル	スタンプ選択を中止し、元のモードに戻ります。

- ③** スタンプを選択すると上記「スタンプ選択画面」が消え、教材作成画面にスタンプ画像が表示されます。



- ④** 挿入したい位置でペンをタッチすると、その位置にスタンプ画像が挿入されます。



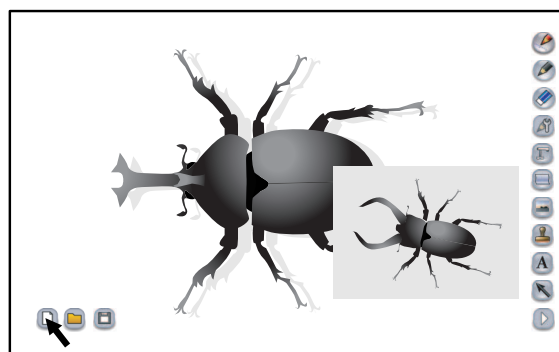
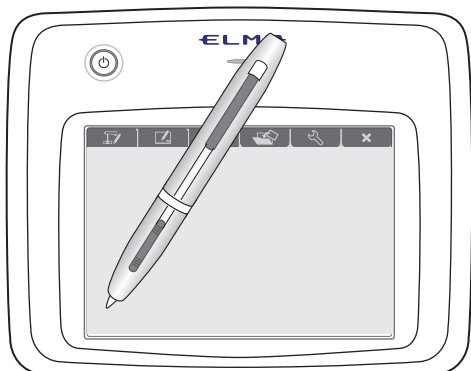
お知らせ

- スタンプは追加することができます。
詳しくは〈スタンプを追加する〉をご参照ください。

ファイル操作

■教材を新規作成する

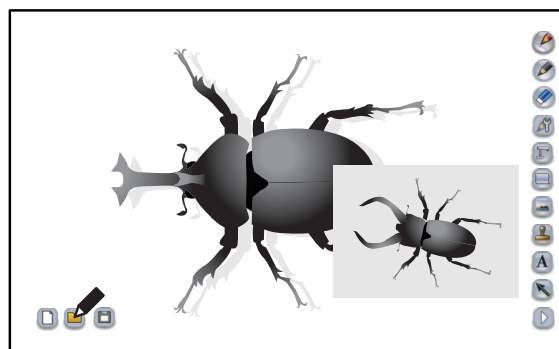
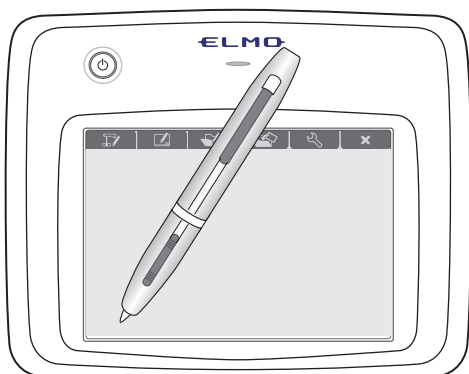
- ①** 左下の  をタッチします。



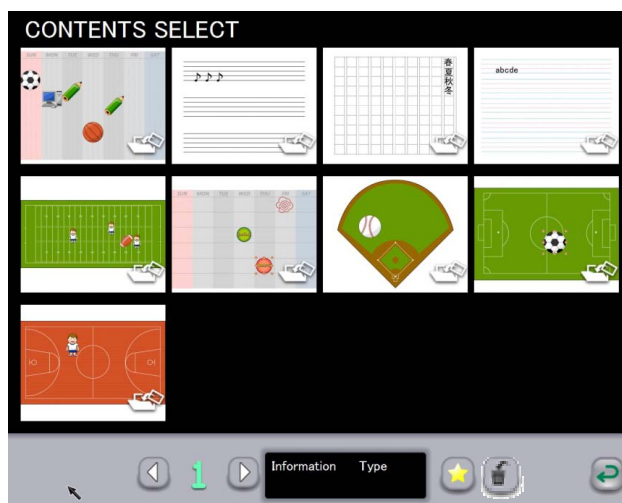
- ②** 現在作成中の教材は破棄され、教材を新規作成します。

■教材を開く

- 1 左下の  をタッチします。



- 2 編集する教材を選択します。



教材選択画面では、教材作成モードで作成した教材を選択します。
教材は更新日時の新しい物から表示されますが、お気に入りの教材は更新日時に関わらず優先的に表示されます。

 ページ	教材が一画面で表示できない場合、ページを変えることで選択することができます。
Information	選択した教材の更新日を表示します。
Type	選択した教材の種類を表示します。
 お気に入り	選択した教材をお気に入りにします。 お気に入りの教材は、教材選択画面で優先的に表示されます。
 削除画面	教材選択画面から削除画面に切り替えます。 切り替える前に選択した教材は、削除選択状態になります。



キャンセル

教材選択を中止し、元のモードに戻ります。

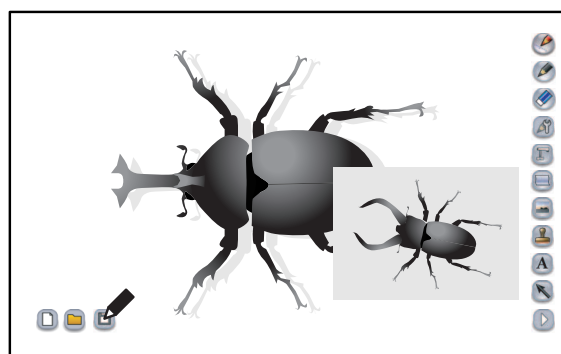


注意

ビデオを表示する場合、パソコンの環境や状態によってはビデオの映像が遅くなったり、操作に対する反応が遅くなったりする場合があります。
他のアプリケーションを終了すると、改善する場合があります。

■教材を保存する

① 左下のをタッチします。



② 現在作成中の教材を保存します。



注意

教材を開いて編集を行った場合、保存データに上書き保存するため、
前回のデータは残りません。



お知らせ

- 保存したコンテンツは再編集可能です。

メニュー一覧

各メニューボタンの機能は以下のとおりです。

教材作成モード

■メニューボタン

 1ペン	1 ペンを選択します。 初期状態では赤色の直線ペンとなります。「ペン設定」で、このペンの設定を変えることができます。
 2ペン	2 ペンを選択します。 初期状態では黒色の鉛筆となります。「ペン設定」で、このペンの設定を変えることができます。
 全消去	画面に描画されたすべての線を消去します。 描画を一部消去したい場合は消したい部分にカーソルを合わせ、ペンの消しゴムボタンを押しながらタッチをします。〈部分消去〉をご参照ください。
 ペン設定	1 ペン、2 ペンの設定を表示します。 詳しくは〈ペンを設定する〉をご参照ください。
 書画カメラ背景	教材作成モードの背景を書画カメラ映像にします。 教材作成モードでは、書画カメラの操作を「書画カメラリモコン」で行います。
 背景変更	縦線、横線、グラフ用紙、原稿用紙、五線譜、アルファベット練習帳、ホワイトボード、過去に録画したビデオ、過去に撮影した写真、パソコンに保存されている写真の中から背景を選択します。
 写真挿入	パソコンに保存されている写真を挿入します。
 スタンプ	スタンプを挿入することができます。 なお、スタンプは追加することができます。 詳しくは〈スタンプを追加する〉をご参照ください。
 文字入力	キーボードから文字を入力します。
 選択	線やスタンプ、挿入した写真を選択し、移動や大きさを変更します。
 パソコン操作	パソコンを操作します。 パソコン画面で  をタッチすると、背景がパソコンのキャプチャ画像になります。  をタッチすると、ペンタブレットソフトウェア（Image Mate Accent）の画面に戻ります。

 キャプチャ	現在表示されている内容を写真として保存します。 背景に表示されている書画カメラや背景画、描画した線などが記録されますが、ボタンやカーソル等は記録されません。 写真は「  教材取り出しモード」で表示することができます。
 描画編集	線やスタンプ、挿入した写真の移動や大きさ変更、コピーや貼り付け等の編集をします。
 1つ戻る	直前に行った描画編集動作（ペンで描く、消しゴムで消す等）をやり直すことができます。戻る回数には上限があります。
 書画カメラモード	書画カメラモードになります。
 ホワイトボードモード	ホワイトボードモードになります。
 教材取り出しモード	教材取り出しモードになります。
 教材作成モード	教材作成モードになります。
 設定	ペンの設定、ペンタブレットの設定を行うことができます。
 終了	ペンタブレットソフトウェア（Image Mate Accent）を終了します。
 次メニュー	メニューが一画面で表示されない場合に表示されます。 このボタンで次のメニューに移動します。 最後のメニューが表示されている時に、このボタンをタッチすると、最初のメニューが表示されます。

■サブメニューボタン

 新規作成	教材を新規作成します。
 開く	既存の教材作成データを編集します。このボタンをタッチして表示される教材選択画面から、編集するデータを選択してください。
 保存	現在編集している教材作成データを保存します。  注意 教材を開いて編集を行った場合、保存データに上書き保存するため、前回のデータは残りません。

機能一覧

教材作成モードで利用できる機能は以下のとおりです。

○・・・常時使用することができます。

△・・・エキスパート設定、書画カメラの接続状態、書画カメラの状態によっては使用することができません。

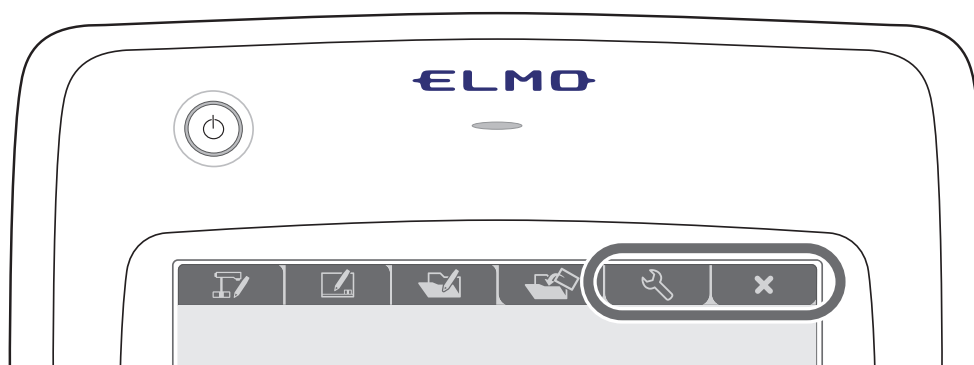
ボタン名	教材作成モード
1 ペン	○
2 ペン	○
全消去	○
ペン設定	○
ズーム＋／－	△
オートフォーカス	△
明るさ＋／－	△
キャプチャ	○
設定	○
終了	○
次メニュー	○
パソコン操作	○
書画カメラ背景	○
背景変更	○
写真挿入	○
スタンプ	○
1 つ戻る	○
選択	○
画面停止／再開	△
文字入力	○
描画編集	○
書画カメラモード	○
ホワイトボードモード	○
教材取り出しモード	○
教材作成モード	○
再生速度	△
再生／一時停止	△
音量変更	△
新規作成	○
開く	○
保存	○

各種設定

この章では、ペンタブレットの動作を設定する方法をご紹介します。



この章では設定モードについて説明します。

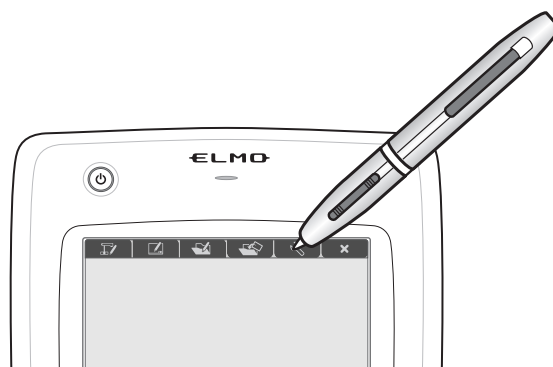


モード	ファンクションキー	説明
設定モード	 	ペンタブレットの動作を設定するモードです。 接続機器のバージョンや状態を表示や、ペンタブレットの動作を設定します。
終了	 	ペンタブレットソフトウェア（Image Mate Accent）を終了します。

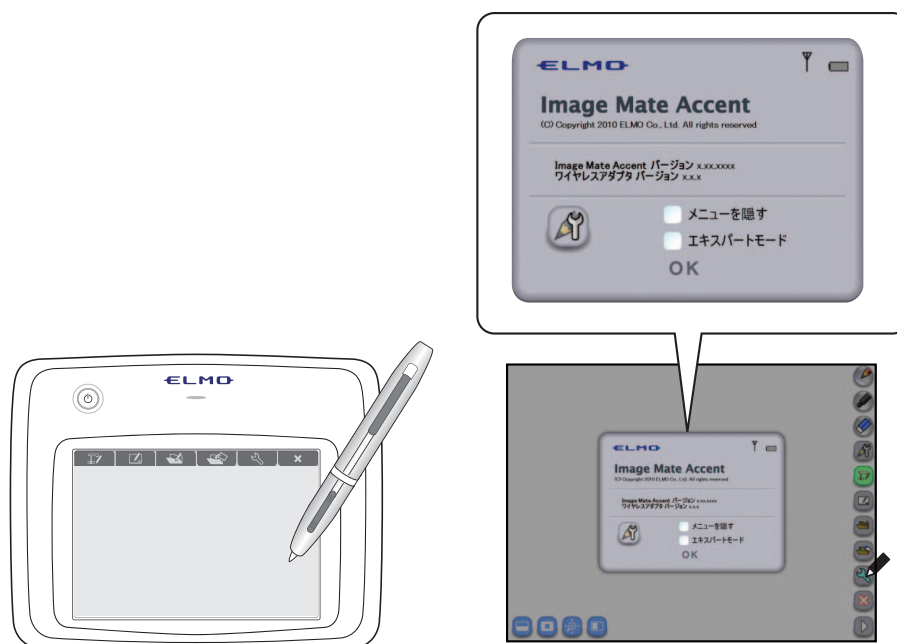
設定モード

設定モードではペンタブレットの動作を設定することができます。

ペンタブレットの  ファンクションキーをタッチします。



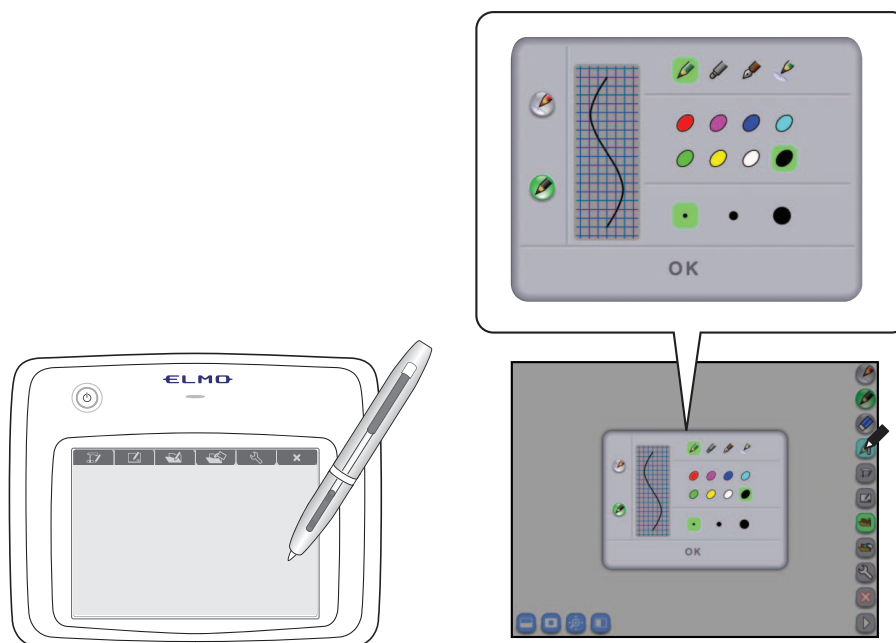
ペンタブレットの状態表示



バージョン表示	ペンタブレットソフトウェア(Image Mate Accent)のバージョン、ペンタブレットのバージョン、ワイヤレスアダプタのバージョンを表示します。
 電波強度	ペンタブレットとワイヤレスアダプタの電波強度を表示します。電波強度が弱い状態の場合、正常に動作しない場合があります。
 電池残量	バッテリーパックの電池残量を表示します。電池の残量が少なくなった場合は充電を行ってください。
 ペン設定	1 ペン、2 ペンの設定を表示します。 詳しくは〈ペンを設定する〉をご参照ください。
メニューを隠す	通常表示されているメニューやサブメニューを隠します。画面を広く使いたい場合にチェックを付けて選択します。
エキスパートモード	エキスパートモードを選択すると、メニューで表示される項目が増えたり、ハイライト機能のハイライト範囲の変更が行えるようになります。 エキスパートモードに移行するにはチェックを付け、選択します。 動作モードごとに増える項目については、〈メニュー一覧〉をご参照ください。

ペンを設定する

- ①  をタッチし、ペン設定を表示します。



 /  1 ペン / 2 ペン	設定を行うペンを選択します。								
 /  /  /  鉛筆 / マーカー / 万年筆 / 直線ペン	選択したペンの種類を選択します。 <table border="1" data-bbox="660 1232 1369 1758"> <tr> <td>鉛筆</td><td>筆圧に関わらず、設定した太さで描画を行います。</td></tr> <tr> <td>マーカー</td><td>筆圧に関わらず、設定した太さで描画を行います。 色が半透明で表示されます。 まっすぐな手書きの線を自動的に直線に変換します。（直線補正機能）</td></tr> <tr> <td>万年筆</td><td>ペンの筆圧によって太さが変化します。</td></tr> <tr> <td>直線ペン</td><td>筆圧に関わらず、設定した太さで描画を行います。 まっすぐな手書きの線を自動的に直線に変換します。（直線補正機能）</td></tr> </table>	鉛筆	筆圧に関わらず、設定した太さで描画を行います。	マーカー	筆圧に関わらず、設定した太さで描画を行います。 色が半透明で表示されます。 まっすぐな手書きの線を自動的に直線に変換します。（直線補正機能）	万年筆	ペンの筆圧によって太さが変化します。	直線ペン	筆圧に関わらず、設定した太さで描画を行います。 まっすぐな手書きの線を自動的に直線に変換します。（直線補正機能）
鉛筆	筆圧に関わらず、設定した太さで描画を行います。								
マーカー	筆圧に関わらず、設定した太さで描画を行います。 色が半透明で表示されます。 まっすぐな手書きの線を自動的に直線に変換します。（直線補正機能）								
万年筆	ペンの筆圧によって太さが変化します。								
直線ペン	筆圧に関わらず、設定した太さで描画を行います。 まっすぐな手書きの線を自動的に直線に変換します。（直線補正機能）								
 色ボタン	選択したペンの色を設定します。								
 /  /  太さ	選択したペンの太さを設定します。								

- ② 1 ペンまたは2 ペンごとに、ペン種、色、ペンの太さを選択して OK をタッチします。

その他の機能

この章では、ペンタブレットに関する各種機能をご紹介します。

ペン先の交換

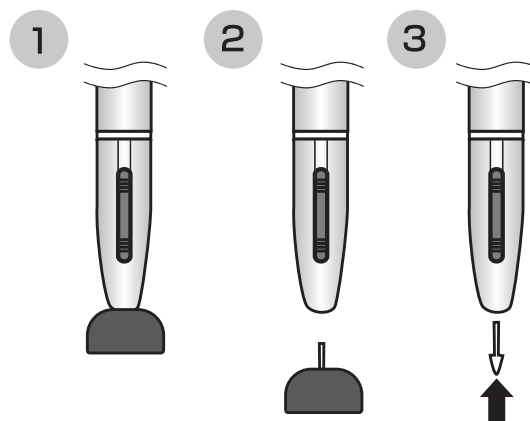
ペン先が丸くなってきたら、付属の「替え芯」と交換してください。

ペン先の交換は、付属の替え芯交換用ピンセットを使用してください。



注意

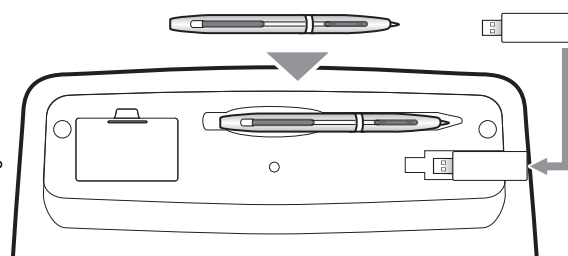
- ・ ペン先を交換する場合は、必ず付属の「替え芯」と交換してください。
- ・ お子様が小さな部品を口に入れないよう、ご注意ください。



ワイヤレスアダプタとペンの収納

ペンとワイヤレスアダプタをタブレットに収納することができます。

ワイヤレスアダプタは無線設定ボタンをタブレット側にして収納してください。脱落防止用ロックがかかります。



タブレット底面



注意

ワイヤレスアダプタを収納する時は、しっかりとタブレットに差し込み、持ち運び時などに落とさないよう注意してください。

LED について

ペンタブレットの電源ボタン LED と状態 LED、ワイヤレスアダプタの無線設定ボタン LED は機器の状態を表します。

■電源 LED

LED の状態	動作
消灯	電源が OFF の状態です。 電源を ON にするには、電源ボタンを押してください。
点灯	電源が ON の状態です。 電源を OFF にするには、電源ボタンを 3 秒押してください。
点滅	バッテリーパックの電池残量が不足しています。 充電を行ってください。

■状態 LED

LED の状態	動作
消灯	電源が ON の場合は、ワイヤレスアダプタと正常に通信できています。
高速点滅 (0.5 秒間隔で点灯、 消灯を繰り返す)	無線設定ボタンを押した状態です。
点滅 (1 秒間隔で点灯、 消灯を繰り返す)	ワイヤレスアダプタと通信できていません。 〈ペンタブレットの無線通信設定〉をご参照ください。
点灯	充電しています。

■無線設定ボタン (LED)

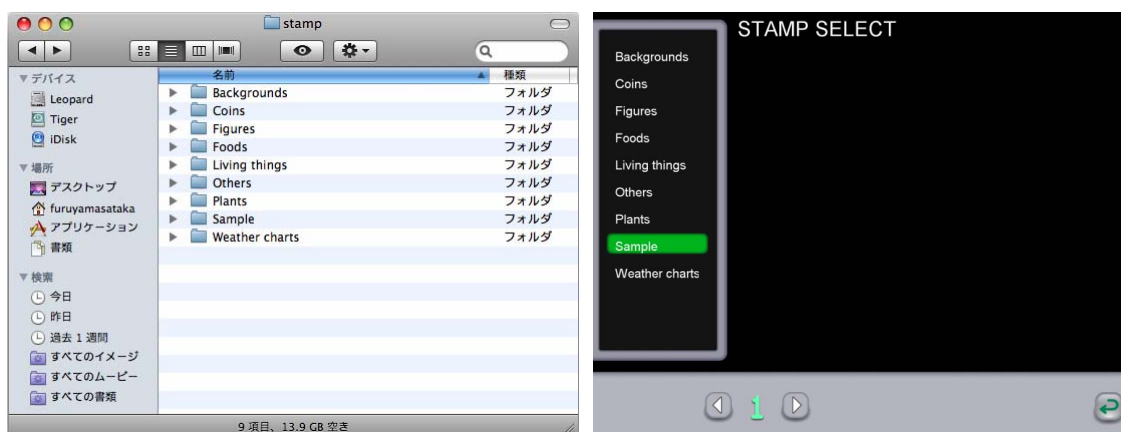
LED の状態	動作
消灯	パソコンの電源が入っていないか、 電源が入っている場合は、ペンタブレットと正常に通信できています。
高速点滅	ワイヤレスアダプタの無線設定ボタンを押した状態です。
点滅	ペンタブレットと通信できていません。 〈ペンタブレットの無線通信設定〉をご参照ください。

スタンプを追加する

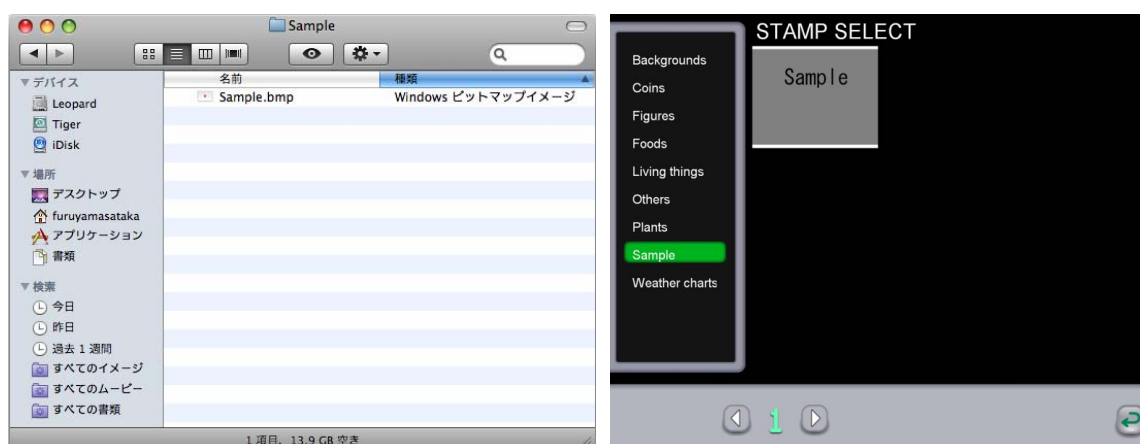
教材作成モードで使用するスタンプの種類を、Finderを使用することで追加することができます。なお、スタンプの使い方については〈スタンプ機能を使う〉をご参照ください。

- 1 Mac OS X の Finder→アプリケーション→Image Mate Accent→stamp の順にフォルダを開いてください。

- 2 新しくグループを追加する場合は、新規フォルダを作成し名前を付けます。
グループの追加はペンタブレットソフトウェア（Image Mate Accent） 次回起動時に反映されます。



- 3 スタンプの画像データ（jpg・bmp・png）を追加するグループのフォルダに入れると追加されます。



追加できるスタンプのデータ形式は jpg・bmp・png になります。
（一部表示できないものもあります）

ペンタブレットの無線通信設定

電源ボタンを押した際、「状態 LED」が点滅を繰り返し、通信ができない場合は、ペンタブレット底面およびワイヤレスアダプタの「無線設定ボタン」を使用して無線設定を行ってください。

ペンタブレットの電源を ON にして、
裏面の「無線設定ボタン」を押します。



「状態 LED」が高速点滅を始めます。

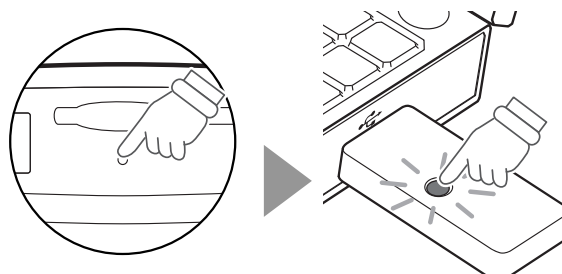


ワイヤレスアダプタの「無線設定ボタン」
を押します。



ペンタブレットの「状態 LED」が数
秒で消灯します。

「状態 LED」が消灯するとペンタブ
レットとワイヤレスアダプタの通信
が可能となり、ペンタブレットが使用
可能となります。



タブレット裏面

ワイヤレスアダプタ



注意

無線設定は、ペンタブレット裏面の「無線設定ボタン」を押してから、30 秒以内に行ってください。

ワイヤレスアダプタの「無線設定ボタン」は、ワイヤレスアダプタの本体を支えた状態で押してください。

ペンタブレットを以下のように使用すると、ワイヤレスアダプタとの通信が不安定になるといった場合があります。

- ・ペンタブレットとワイヤレスアダプタとの間に遮蔽物がある
- ・パソコンの上に置いて使用する
- ・近くで無線機器や電子機器を使用する
- ・ペンタブレットを激しく動かしながら使用する

その他、無線通信の特性上、ペンタブレットとワイヤレスアダプタの位置関係によっては、通信が不安定になる場合があります。

困ったときには

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。
改善されない場合は保証についてご確認のうえ、お買い上げの販売店までご相談ください。

ペンタブレットの電源が入らない	
バッテリーパックは入っていますか	バッテリーパックが正しく入っていることを確認してください。
バッテリーパックは充電されていますか	〈バッテリーパックの取り付け／充電〉をご参照の上、充電を行ってください。
ペンタブレットが使えない／カーソルが動かない	
ワイヤレスアダプタがパソコンに接続されていますか	起動しているパソコンにワイヤレスアダプタが接続されていることを確認してください。  ワイヤレスアダプタはパソコンのUSBポートに接続してください。USBハブを使用すると、正常に動作しない場合があります。
ペンタブレットの状態 LED またはワイヤレスアダプタの LED が点滅していませんか	ペンタブレットとワイヤレスアダプタの通信ができていません。〈ペンタブレットの無線通信設定〉をご参照ください。
通信ができない。	近くで無線機器や電子機器を使用すると、電波干渉でペンタブレットとワイヤレスアダプタの通信が不安定になる場合があります。 ペンタブレットの近くで、原因機器を使用しないでください。
ペンの乾電池が消耗していませんか	新しい乾電池に交換してください。 〈ペンに電池を入れる〉をご参照ください。

ペンタブレットとワイヤレスアダプタの通信が安定しない	
他社ペンタブレットソフトウェアがインストールされていますか	他社製ペンタブレットソフトウェアが動作していると、弊社製ペンタブレットの動作と競合する場合があります。 ペンタブレットをご使用の場合は、他社製ペンタブレットソフトウェアを動作させないようにしてください。
ペンタブレットとワイヤレスアダプタの状態は適切ですか	ペンタブレットとワイヤレスアダプタの間に遮蔽物があるまたは、無線通信の特性上、双方の設置角度によって通信が不安定になる場合があります。 遮蔽物を取り除くか設置場所を変更してお使いください。
近くで無線機器や電子機器を使用していますか	無線機器や電子機器はペンタブレットとワイヤレスアダプタの通信に干渉する場合があります。 〈ペンタブレットの無線通信設定〉をご参照の上、無線設定を行ってください。 それでも状況が改善されない場合は、無線機器や電子機器の使用をやめていただくか、干渉しない場所でご使用ください。
ペンタブレットソフトウェア（Image Mate Accent）で書画カメラが正しく表示されない	
書画カメラの出力映像設定は適切ですか	書画カメラの映像切り替えを〔PC〕(RGB IN)で使用してください。
書画カメラ映像の解像度の縦横比は適切ですか	ペンタブレットソフトウェア（Image Mate Accent）は、書画カメラ映像の解像度の縦横比を保持します。 パソコン画面解像度の縦横比と書画カメラ映像の解像度の縦横比を合わせると、適切な表示が行えます。 書画カメラの設定については、お使いの書画カメラの取扱説明書をご参照ください。
ペンタブレットソフトウェア（Image Mate Accent）で教材が正しく表示されない	
教材の背景に使用したビデオや写真を削除していませんか	削除したビデオや写真を使用した教材を表示した場合、背景が表示できなくなります。 ビデオや写真の削除は慎重に行ってください。
ペンタブレットソフトウェア（Image Mate Accent）で作成した教材やキャプチャした画像の保存場所がわからない	
保存場所は右記になります	ホーム→ピクチャ→Image Mate Accent→rec になります。

ペンタブレットソフトウェア（Image Mate Accent）で教材の音声再生されない	
授業録画のビデオですか	ビデオの種類は、授業録画、通常録画、間欠録画、コマ撮り録画で、このうち音声録音されるのは授業録画のみとなります。その他のビデオでは音声録音はされません。
音量の設定は適切ですか	ビデオの録画の時に入力音量が小さかったり、再生音量が小さかったりすると、音声聞き取りにくい場合があります。 音量を適切に設定してください。
パソコンのサウンドデバイスは適切に設定されていますか	パソコンにサウンドデバイスがインストールされていない環境では、音声録音、音声再生はできません。  注意 全てのパソコン環境での動作を保証するものではありません。

製品仕様

製品仕様

型名	CRA-1
使用温度	0°C～40°C
読み取り範囲	8.0 インチ × 5.0 インチ (203.2mm × 127.0mm)
読み取り分解能	0.0127mm
読み取り精度	0.42mm
読み取り速度	120rps
筆圧レベル	1024 レベル
使用無線帯域	2.4GHz
通信距離	約 15m (使用状況により異なります)
電源	バッテリーパック (リチウムイオン電池)
連続使用可能時間	約 22 時間 (使用状況により異なります)
オートパワーオフ時間	約 30 分
満充電時間	約 4 時間
消費電流	USB 使用時 5V 500mA バッテリーパック使用時 3.7V 60mA
対応機種	Mac OS X が動作するハードウェア
対応 OS	Mac OS X 10.5.8 / Mac OS X 10.6.2
外形寸法	W315 × D257 × H23 (mm)
質量	670g (タブレット、ワイヤレスアダプタ、ペン、単 4 形乾電池 (ペン用)、ペンタブレット用バッテリーパックを含む)

動作環境

ペンタブレットは以下の環境で 사용할 수 있습니다。

対応機種	Mac OS X が動作するハードウェア
オペレーティングシステム (OS)	Mac OS X 10.5.8 Mac OS X 10.6.2
CPU	Intel Core 2 Duo, Intel Xeon
メモリ	512MB 以上を推奨
ハードディスク	約 1GB 以上
画面解像度	1024×768 ピクセル以上 約 1670 万色以上
USB	内蔵の USB ポート(Hi-Speed 推奨)
ソフトウェア	QuickTime 7.1.6
対象書画カメラ	・ L-1ex ・ L-1zero ・ L-1zero r ・ TT -02RX ・ TT -02s ・ L-1n ・ P10S ・ P30S ・ P10 ・ P100 ・ P100N ・ HV-110u ・ FF-1 ・ CO-10 (i-Pochette) ・ L-12 ・ TT-12



注意

- ・ サウンドデバイスが使用できない場合、一部の機能が動作しない場合があります。
- ・ 全てのパソコン環境での動作を保証するものではありません。

別売りアクセサリーについて

アクセサリーとして、次の商品を別売しています。（製造終了となっている商品もあります。ご了承ください。）

- ・ ペンタブレット専用ペン Tablet Pen for CRA-1
- ・ バッテリーパック Battery Pack for CRA-1

アクセサリーご購入については、販売店にご確認ください。

使用上のご注意

■ペンタブレットで使用する電波について

ペンタブレットは2.4GHz 帯域の電波を使用しています。ペンタブレットを使用する上で、無線局の免許は必要ありませんが、以下の注意をご確認ください。

以下の近くでは使用しないでください。

- ・ 電子レンジ / ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器など
- ・ 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
- ・ 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- ・ IEEE802.11g/b 無線 LAN 機器

上記の近くでペンタブレットを使用すると、電波干渉引き起こし、ペンタブレットが使いにくくなる恐れがあります。

■2.4GHz 帯使用の無線機器について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- ・ この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
- ・ 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）については、巻末の営業部へお問い合わせください。
- ・ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合は、巻末の営業部へお問い合わせください。

■バッテリーパックについて

ペンタブレットで使用するバッテリーパックは、充電式リチウムイオン電池です。このバッテリーパックは、温度や湿度の影響を受けやすいため、15～25℃の乾燥した場所で保管してください。

充電中、充電後、使用中はバッテリーパックが温かくなります。

長時間使用しないときは、バッテリーパックをペンタブレットから外してください。

使用するときは、バッテリーパックの外観や端子部に変形がないか確認してください。

変形したバッテリーパックは大変危険ですので使用しないでください。

頻繁な継ぎ足し充電を行うと、バッテリーパックの寿命を短くします。

不要になったバッテリーパックは金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って、お住まいの自治体規則に従ってリサイクルしていただくか、巻末の営業部へお持ちください。

■バッテリーパック交換について

使用できる時間が著しく短くなった場合や電源が入らなくなった場合はバッテリーパックの寿命です。

巻末の営業部で新しいバッテリーパックをお買い求めください。

なお、バッテリーパックは消耗品扱いとなり、弊社保証期間内の交換でも有償となります。

■使用環境、保管について

- ・ペンタブレットは屋内専用モデルです。屋外ではご使用になれません。
- ・湿気やほこりの多い場所、潮風の当たる場所、振動の多いところには置かないでください。

使用上の環境条件は次のとおりです。

温度：0～40℃

湿度：30～90%（結露しないこと）

- ・保管にあたっては直射日光の当たる所、暖房器具の近くに放置しないでください。変色、変形、故障の原因となることがあります。

■お手入れ

ペンタブレットのお手入れは、接続されているケーブルおよびバッテリーパックを取り外し、湿気や水気の無い場所で行ってください。

- ・ペンタブレットの汚れのふき取りは、乾いたやわらかい布で行ってください。
- ・ひどい汚れなどをふき取る場合は、中性洗剤を水で薄めやわらかい布に付けて、固く絞ったあとふき取ってください。シンナー、ベンジンなどは絶対に使用しないでください。

免責事項

本書の内容、および Image Mate Accent は、将来予告無しに変更することがあります。
お客様のコンピュータにインストールされておりますソフトウェアまたは周辺機器の影響により、当社のソフトウェアの動作に支障をきたす事があります。
当社のソフトウェアのご使用により生じた直接および間接の損害につきましては、当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

商標について

本書には以下の商標・登録商標が使用されています。

、Image Mate は株式会社 エルモ社の登録商標です。

 は株式会社 エルモ社の商標です。

Image Mate Accentは、株式会社エルモ社の商標または登録商標です。

Adobe、PhotoshopはAdobe Systems Incorporatedの商標または登録商標です。

Intel、Intel Core 2 Duoおよび Intel XeonはIntel Corporationの登録商標です。

Adobe、Adobe Reader、Adobe Flash Player は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Apple、Apple ロゴ、Mac、Mac OS、Macintosh、およびQuickTime は、米国およびその他の国で登録されたApple Inc. の商標です。Mac は、Apple Inc. のサービスマークです。

その他、記載の商品名、会社名は一般に各社の登録商標または商標です。

保証について

本製品の保証は以下のとおりです。

■保証書について

保証書は販売店からお渡しします。

必ず「販売店名・購入日」などの記入をお確かめください。

保証内容をよくお読みの上、大切に保存してください。

保証期間：お買い上げから1年

■保証期間中に修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証書の記載内容により、販売店が修理いたします。

■補修用性能部品について

当社ではこの製品の補修用性能部品

(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

■ご連絡していただきたい内容

- ・ご住所・ご氏名・電話番号
- ・製品名・型名
- ・ご購入日（保証書をご覧ください）
- ・故障内容
- ・異常の状況（できるだけ詳しく）

■保証期間経過後、修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により、有料で修理いたします。

■保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

愛情点検	●長年ご使用の機器の点検をぜひ！	熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により製品が劣化し故障や時には安全性を損なって事故につながることもあります。
		

株式会社 エルモ社

製品のお問い合わせは、下記営業部へ

エルモソリューション販売株式会社

□ 営業本部	〒550-0014	大阪市西区北堀江三丁目 12 番 23 号 三木産業ビル 7 階	TEL.06-7670-0025
■ 中部営業部	〒467-0852	名古屋市瑞穂区明前町 6 番 14 号	TEL.052-811-5261
■ 東北営業部	〒980-0023	仙台市青葉区北目町 1 番 18 号 ピースビル北目町 4 階	TEL.022-266-3255
■ 中国営業部	〒730-0041	広島市中区小町 5 番 8 号 ドルチェ 2 階	TEL.082-248-4800
■ 九州営業部	〒812-0039	福岡市博多区冷泉町 2 番 8 号 朝日プラザ祇園 2 階	TEL.092-281-4131
■ 札幌オフィス	〒001-0021	札幌市北区北 21 条西 8 丁目 3 番 8 号 バックスビル	TEL.011-738-5811
■ 徳島オフィス	〒772-0017	鳴門市撫養町立岩字七枚 82 番地	TEL.088-678-9035
■ 山陰オフィス	〒683-0853	鳥取県米子市両三柳 48-3	TEL.0859-31-3400
□ 首都圏営業本部	〒108-0073	東京都港区三田三丁目 12 番 16 号 山光ビル 4 階	TEL.03-3453-6471
□ 近畿四国営業本部	〒550-0014	大阪市西区北堀江三丁目 12 番 23 号 三木産業ビル 7 階	TEL.06-6541-0123
□ セキュリティ営業本部	〒108-0073	東京都港区三田三丁目 12 番 16 号 山光ビル 4 階	TEL.03-3453-6471

<http://www.elmosolution.co.jp>

6X1TABAC4 R2-Hx